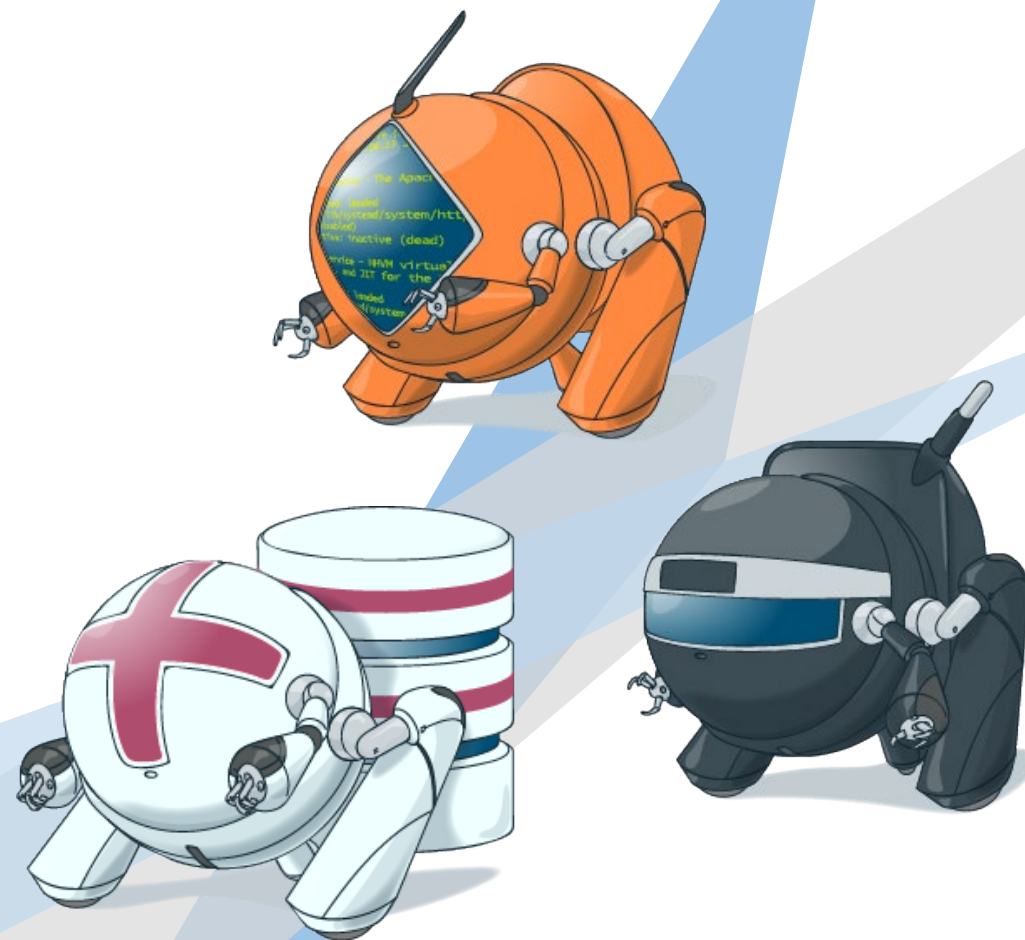




プライム・ストラテジー株式会社  
証券コード：5250

# 2023年11月期 第3四半期 決算説明資料



# 目次

## 1. 会社紹介

## 2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

## 3. 市場環境

## 4. 成長戦略

## 5. KUSANAGI 開発状況

## 6. ESGへの取り組み

## 7. 四半期ハイライト

## 会社概要

## マネジメントチーム

## 「KUSANAGI Stack」

## 会社の事業内容について

## 沿革及び業績動向

## 経営者の目から見た自社の強み

# 会社概要

## 社名

プライム・ストラテジー株式会社  
英文社名：PRIME STRATEGY CO., LTD.

## 設立年月日

2002年12月2日

## 所在地

〒101-0047  
東京都千代田区内神田一丁目2番2号小川ビル10階

## 代表取締役

代表取締役会長 中村 けん牛  
代表取締役社長 渡部 直樹

## 従業員数（連結）

22名(2023年8月末)

## 資本金

4.2億円（2023年8月末）

## 事業領域

KUSANAGI Stackの開発と提供

- 超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
- 高速化エンジン「WEXAL<sup>®</sup> Page Speed Technology<sup>®</sup>」
- 戦略AI「ONIMARU<sup>®</sup> David」

KUSANAGI Stack事業

- KUSANAGIマネージドサービス
- クラウドインテグレーションサービス
- ライセンス販売

## 連結子会社

Prime Strategy Singapore Pte. Ltd.  
(シンガポール共和国シンガポール市)  
PRIME STRATEGY NEW YORK, INC.  
(米国ニューヨーク州)

## 資本業務提携先



株式会社イントラスト



フィンテックグローバル株式会社



株式会社エアトリ

# マネジメントチーム



**中村 けん牛** 代表取締役 会長

1993年 野村証券株式会社入社  
 1998年 中村けん牛会計士補事務所開設  
 2002年 当社設立・代表取締役就任  
 2023年 当社代表取締役会長就任



**渡部 直樹** 代表取締役 社長

2002年 東京金融先物取引所入所  
 2008年 株式会社飛鳥情報経済研究所設立  
 代表取締役就任  
 2018年 株式会社ビッグツリーテクノロジー &  
 コンサルティング入社  
 2022年 当社取締役就任  
 2023年 当社代表取締役社長就任



**相原 知栄子** 取締役 副社長  
 企画開発部管掌

2013年 当社入社  
 2016年 当社クラウドインテグレーション  
 事業本部 SI事業部 部長就任  
 2021年 当社 クラウドインテグレーション事業部  
 企画開発担当部長就任  
 2021年 当社取締役就任  
 2023年 当社取締役副社長就任



**池宮 紀昭** 取締役 副社長  
 クラウドインテグレーション事業部管掌

2008年 株式会社コナミデジタルエンタテインメント入社  
 2016年 AppMedia株式会社入社  
 2018年 当社入社  
 2020年 当社クラウドインテグレーション事業部 部長就任  
 2020年 当社取締役就任  
 2023年 当社取締役副社長就任



**中山 勝美** 取締役  
 経営管理部管掌

1986年 有限会社家庭教師センター学習館入社  
 1987年 東京アカウンティング学院株式会社  
 (現TAC株式会社) 入社  
 2012年 学校法人大阪歯科大学入職  
 2017年 当社入社 執行役員管理部長  
 2023年 当社取締役就任

社外取締役

小舘 亮之

大崎 理乃

添田 繁永 (監査等委員)

鈴木 隆之 (監査等委員)

森田 芳玄 (監査等委員)

# 「KUSANAGI Stack」

すべての過程で高速化する市場唯一の製品群

 **KUSANAGI Stack**

超高速CMS実行環境「KUSANAGI」  
 高速化エンジン「WEXAL<sup>®</sup> Page Speed Technology<sup>®</sup>」  
 戦略AI「ONIMARU<sup>®</sup> David」

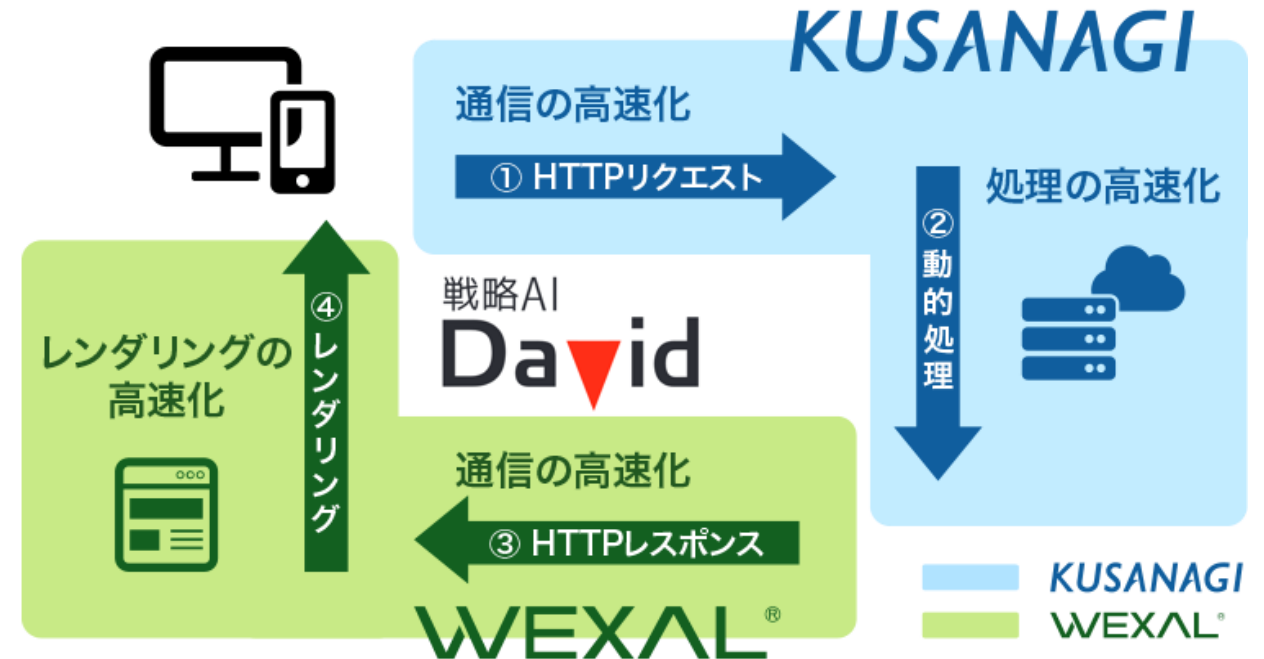


特許協力条約の規定による  
国際出願済み

31プラットフォームで展開  
累計稼働台数7万台

**SPEED & SECURITY & COST**

画面表示するまでのすべての過程を高速にチューニング



# 会社の事業内容について

「KUSANAGI」などコアとなる基礎技術・プロダクトの開発

AI・自動化などのテクノロジーを最大限活用した各種サービスの展開

## ストック型ビジネスを中心に展開

### ストック型ビジネス

#### ライセンス

売上比率 **15%**

##### 有償版ライセンス

KUSANAGIのクラウド事業者を通じた世界販売



##### 知的財産

ブランド/知的財産のライセンス提供

**XSERVER**

GMO INTERNET GROUP

KUSANAGIブランド

国際特許申請済み  
知的財産

#### KUSANAGIマネージドサービス

売上比率 **70%**

**KUSANAGI+KUSANAGIの開発元**  
としてのマネージドサービスの**付加価値**

##### 単一のWebシステム保守運用サービス

顧客の単一のCMS等Webシステムの保守運用サービス

##### CMSプラットフォーム統合サービス

顧客の複数のCMS等Webシステムの統合管理サービス

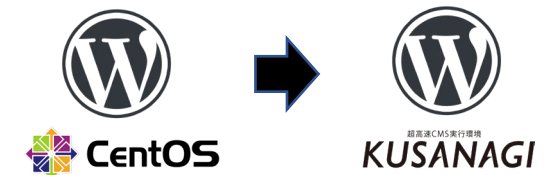
### フロー型ビジネス

#### クラウドインテグレーションサービス

売上比率 **15%**

##### 初期導入時のサービス

KUSANAGIマネージドサービス導入時のシステム移行



##### 保守運用後のサービス

保守運用開始後の顧客Webシステムの追加開発

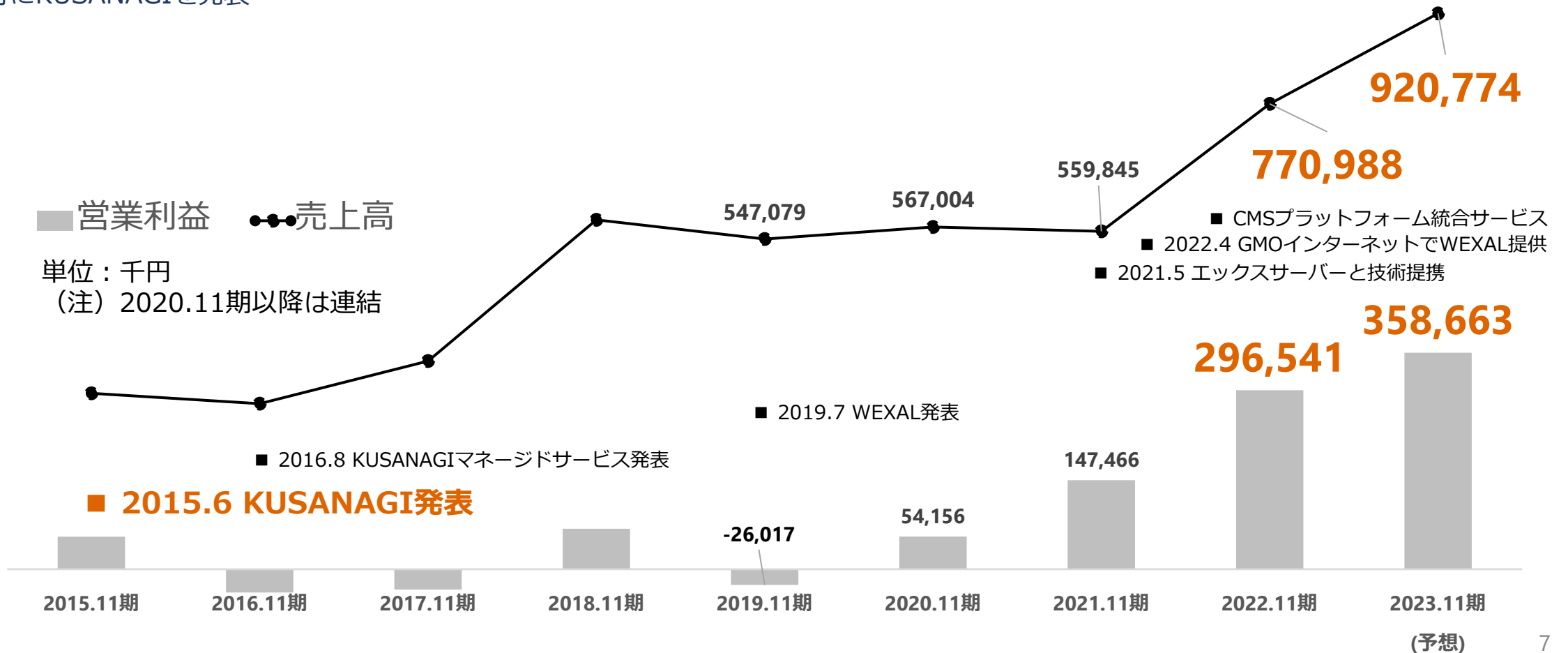
# 沿革及び業績動向

## 第1創業期 WordPress専門インテグレーター

WordPress専門インテグレーターとして、フロービジネスを展開。WordPress/PHP/Linuxに係る技術を蓄積し、2015年6月にKUSANAGIを発表

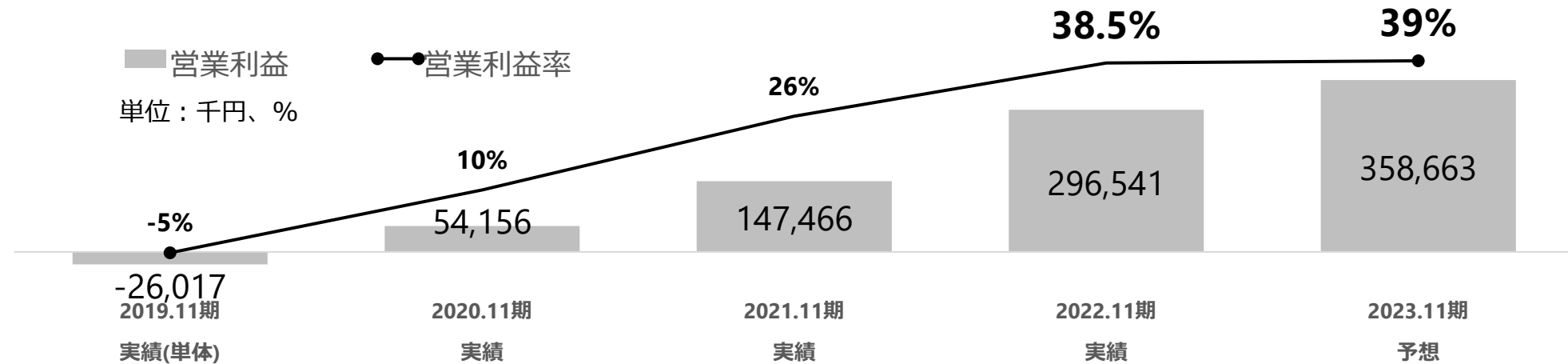
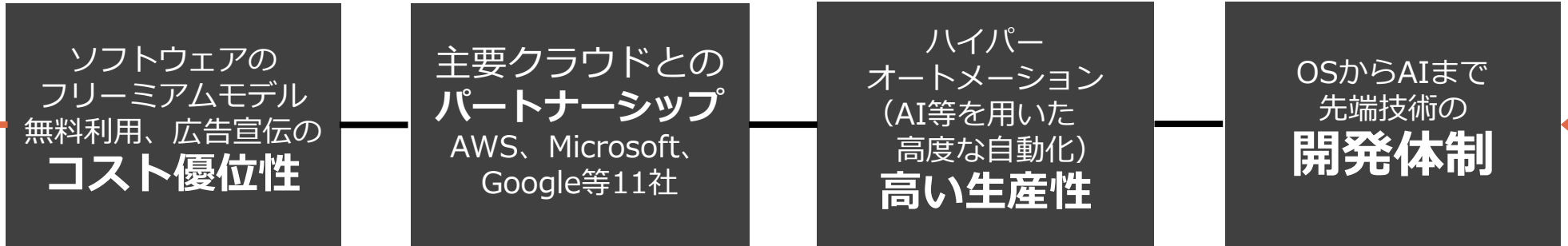
## 第2創業期 KUSANAGI Stack事業の展開

KUSANAGI Stackプロダクト群の開発およびストックビジネス中心の展開。自動化、AI化で利益成長フェーズへ



# 経営者の目から見た自社の強み

知的資本の  
**形成**



還元・再投資

知的資本の  
**発見**





# 目次

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. KUSANAGI開発状況

6. ESGへの取り組み

7. 四半期ハイライト

超高速CMS実行環境「KUSANAGI」

「KUSANAGI」のパフォーマンス

Web表示高速化エンジン「WEXAL Page Speed Technology」 戦略AI「David」

「KUSANAGI」の拡がり

KUSANAGIマネージドサービスの競争力

KUSANAGI利用拡大の背景

# 超高速CMS実行環境「KUSANAGI」

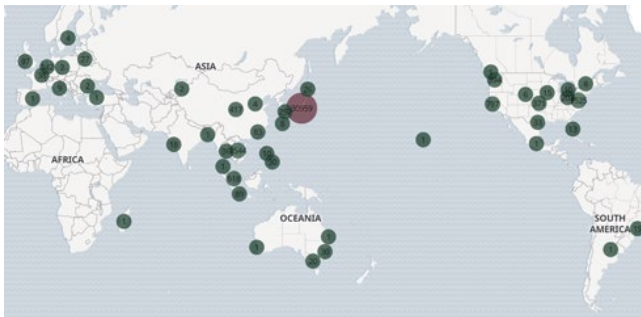
超高速CMS実行環境

# KUSANAGI

Powered by  Prime Strategy

WordPress等のCMSやWebシステムを  
高速かつ安全に動作させるための  
OS(オペレーティングシステム)

**30プラットフォーム**  
**34カ国214リージョンで展開**  
**累計稼働台数7万台**



## フリーミアムモデル

製品を無償提供することでプロダクトの認知度を  
向上させ、運用保守サービスやライセンス販売等の  
有償サービスへ繋げる戦略

無償版



有償版



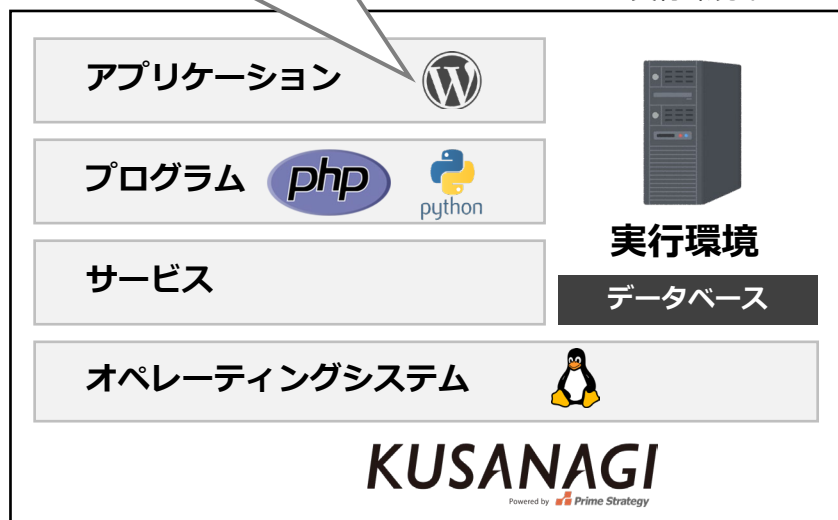
# 「KUSANAGI」のパフォーマンス

AWS、Microsoft Azure、Googleなどパブリッククラウド等の  
インフラ上で利用する希少性の高いソフトウェア

## 差別化された独自性の高い 当社の基盤となるプロダクト

プラグインで高速化する  
製品もあるが限定的

CMS実行環境イメージ



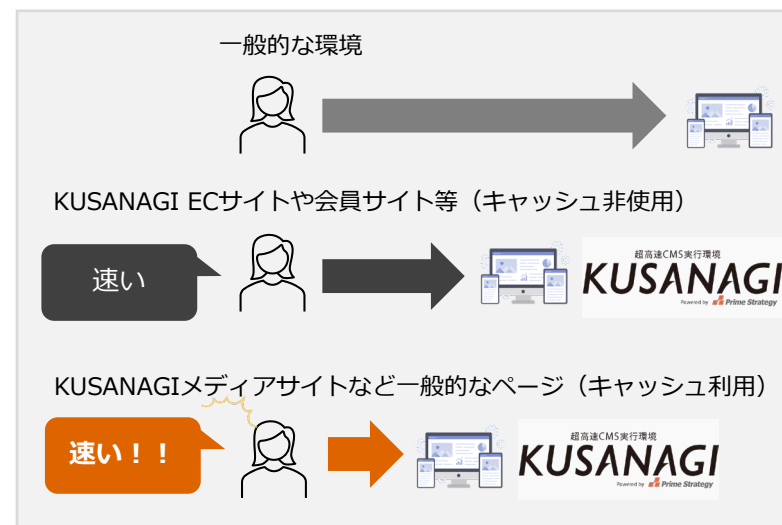
キャッシュ  
サーバ

キャッシュサーバ(CDN)の  
利用で高速化もできるが  
限定的な高速化

KUSANAGI  
は、すべての  
レイヤーを  
高速化する

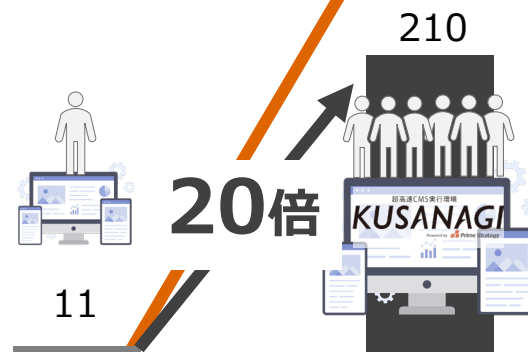
KUSANAGIはすべてのレイヤーを高速化  
ページキャッシュを利用しない場合でも高速化

### 1秒あたりの処理可能リクエスト数



25,000

2,330倍





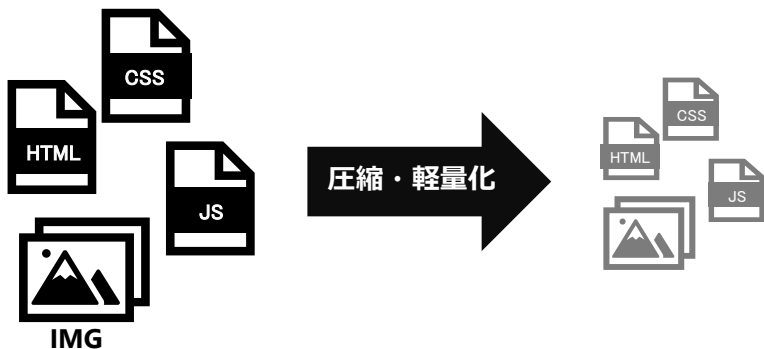
「**WEXAL Page Speed Technology**」は、Webシステムのための「高速化エンジン」。ブラウザ表示の自動チューニングを実施し、UX（ユーザー体験）の向上を実現します。

メリット

2

## リソース最適化による高速化と転送量の削減

画像やJS、CSSのリソースを圧縮し、軽量化する。リソースの最適化により、表示の高速化だけでなく転送量を削減します。



メリット

1

## 戦略AI Davidによる最適化戦略の自動生成

戦略AI Davidがエンジニアに代わってブラウザの環境に合わせてページごとに最適化戦略を自動生成



### 戦略AI David 自動最適化

エンジニアが最適化に  
悩む必要はない

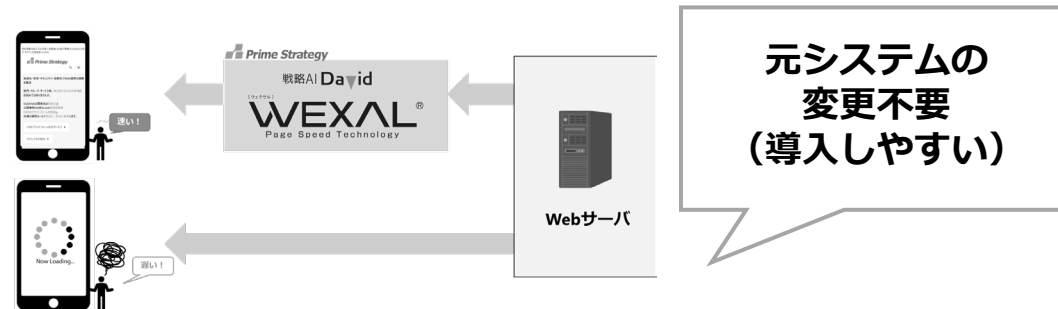


メリット

3

## オリジナルデータの改変なし

オリジナルのリソースやプログラム、データベースに保存されているデータなどの改変は行わない。



# 「KUSANAGI」の拡がり

## 世界で利用されるKUSANAGI

グローバルなCMS高速化ソリューションのデファクトスタンダードとして成長

国内外の主要な30プラットフォーム  
34カ国214リージョンで利用可能（2023年8月現在）



ORACLE  
Cloud



vmware®

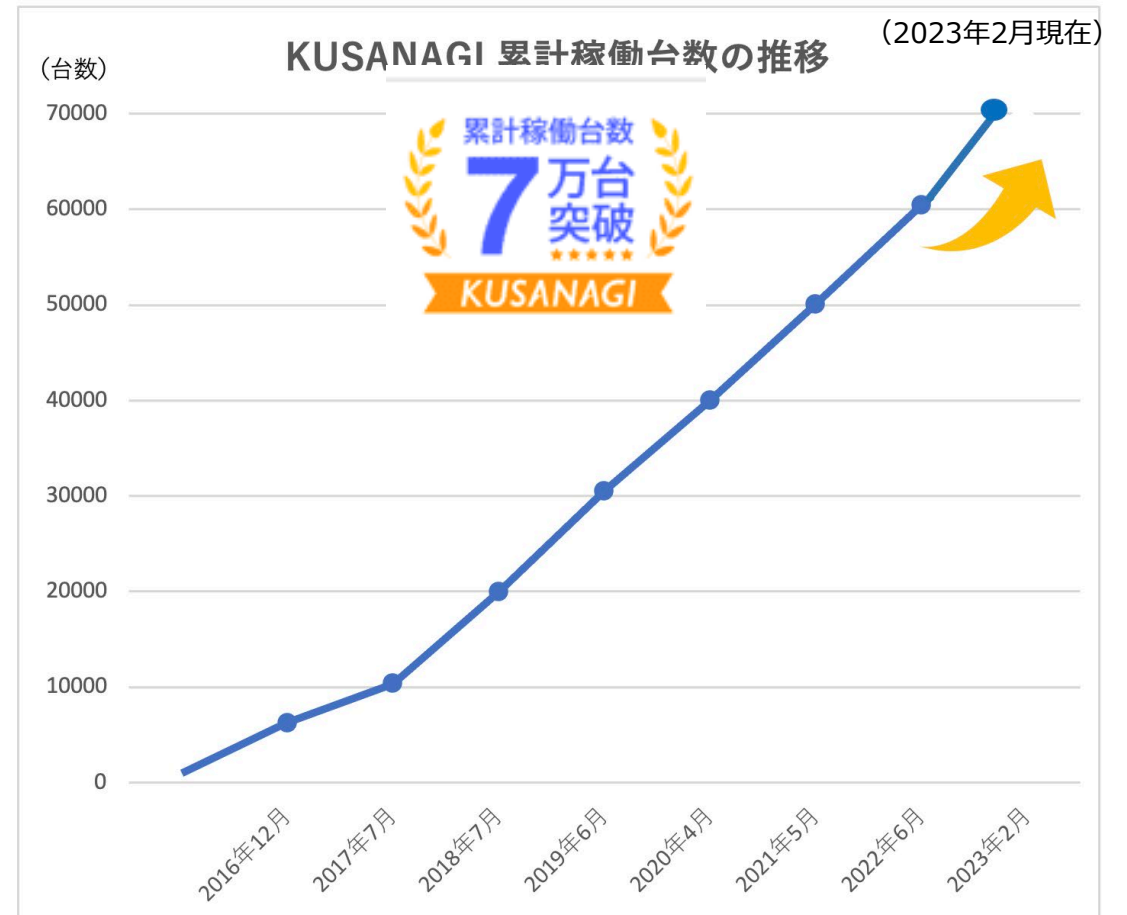
Alibaba Cloud



知的財産のライセンス提供

Xserver

GMO  
INTERNET GROUP



# KUSANAGIマネージドサービスの競争力

KUSANAGIマネージドサービスとは企業向けWordPressサイトおよびサーバの運用管理まで行うマネージド型のサポートサービスです。マーケティング、Web担当者の方が本来の業務としているコンテンツ作成等に集中できる環境を提供します。

サーバ、ミドルウェアからアプリケーションまでの  
一貫した保守で運用を手離れ



当社が開発したwebシステムでなくとも導入が可能



運用中のシステムをお持ちの企業様に広く提案が可能

契約顧客数 **114社**

(2023年8月現在)

# KUSANAGI 利用拡大の背景

Webサイトの表示速度は、SEO対策の要素となっているだけでなく、表示速度低下がUXの低下を招くことで事業へ直接的に影響を及ぼします。Webサイト運営企業には表示速度の高速化ニーズが高く、またアクセス数増加に対応すべく、ニーズを満たすKUSANAGIの利用拡大に繋がっております。

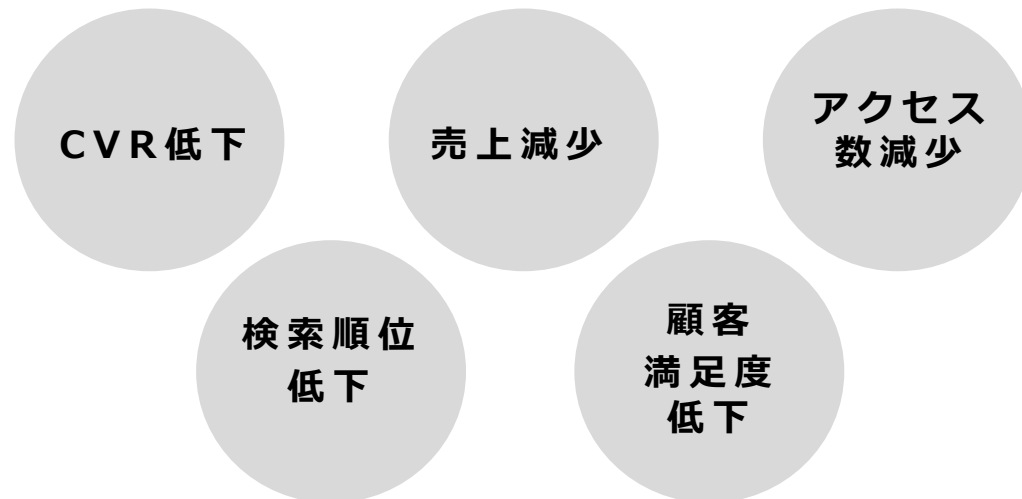
## Webサイト（表示速度）高速化ニーズ

### SEO対策の必要要素として追加

2018年1月にGoogleがWeb表示速度を検索順位に反映させることを公表

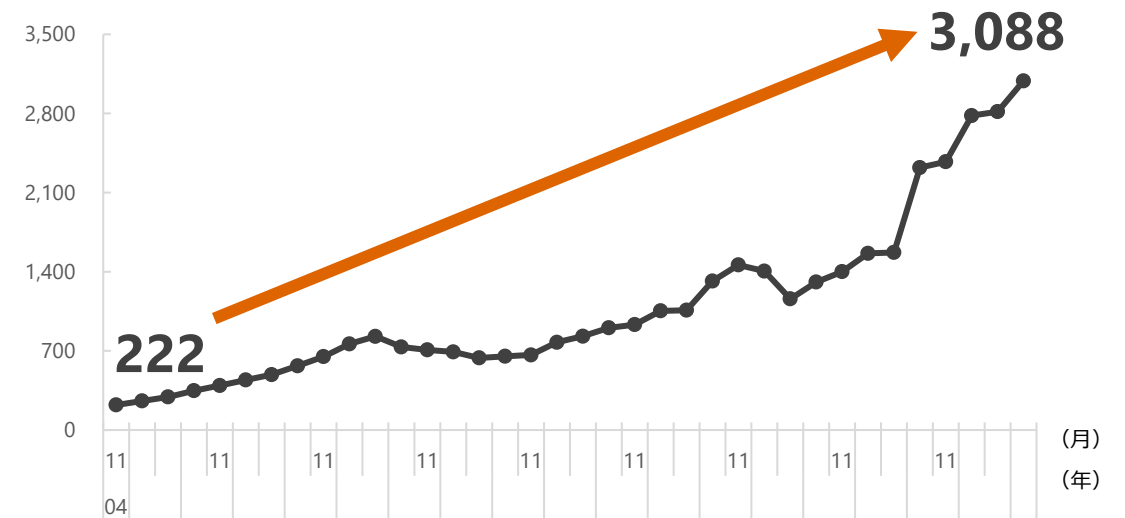
### UX（ユーザー体験）低下への影響

Web表示速度によるユーザー行動の直帰率との関係では、ページ表示速度が1から3秒に遅延すると直帰率は32%増加し、6秒に遅延すると約2倍に増加すると予想され、直接的な機会損失として認識される



## データ流通量（国内ブロードバンドサービス契約者の総トラフィック数）の推移

- ✓ データ流通量は、急激なデジタル化の進展とともに爆発的に拡大しているため、
- ✓ アクセス数増加への対応が必須



注釈：2017年5月から協力ISPが5から9社へ変更しているための不連続な数値  
出所：総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計・試算」より当社作成

# 目次

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. KUSANAGI 開発状況

6. ESGへの取り組み

7. 四半期ハイライト

国内クラウド市場

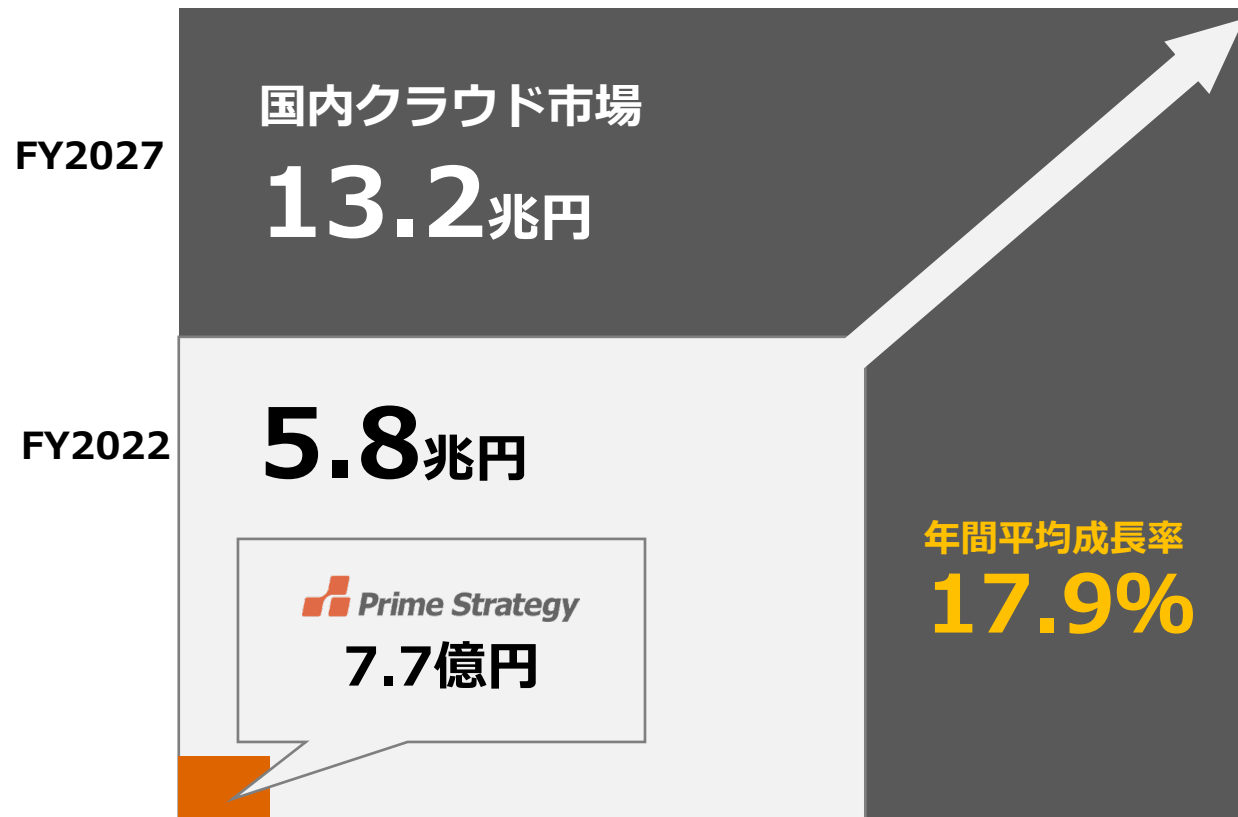
マネージドサービスの国内潜在市場

グローバルで見たKUSANAGI  
ライセンスの潜在市場



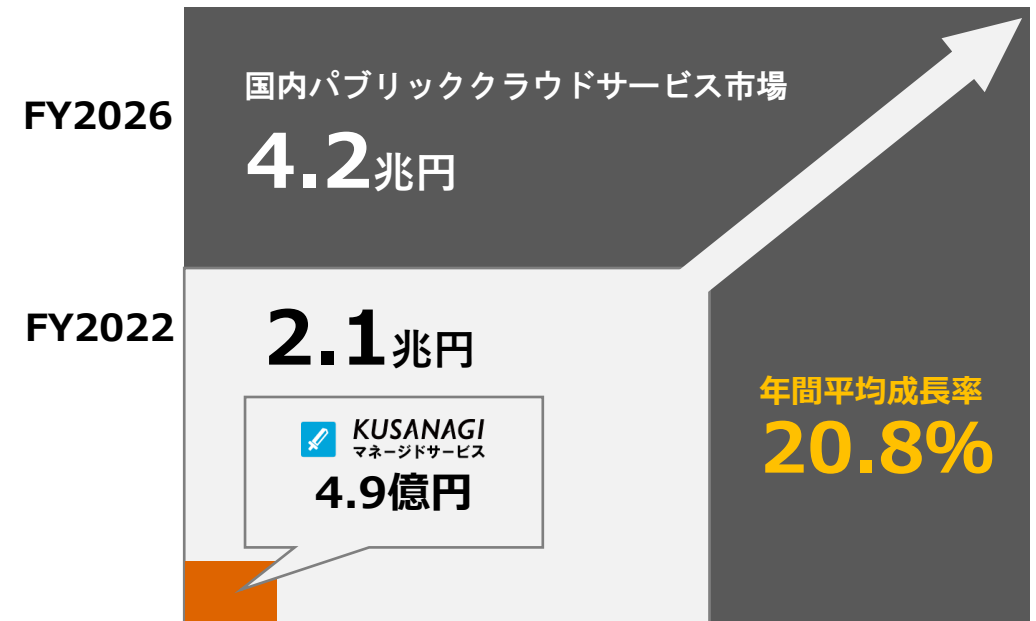
# 国内クラウド市場

国内クラウド市場は年間平均成長率が17.9%と予想されております。以前の「クラウド移行」から「クラウド高度利用」へニーズがシフトし、高い成長率が期待されています。高度利用の観点から当社プロダクト・サービスへの期待も高まり、市場の成長に合わせて当社グループの成長が期待できます。



## KUSANAGI マネージドサービス

KUSANAGIマネージドサービスに限定すれば国内クラウド市場の国内パブリッククラウド市場の国内PaaS市場 サービスセグメントに所属



# マネージドサービスの国内潜在市場

当社の主要サービスである「KUSANAGIマネージドサービス」はWebガバナンス・デジタルガバナンスの観点から上場企業がターゲットになり、また高速化の観点からメディア企業や学校もターゲットです。



× 顧客単価 **434**千円/月  
(2023年8月)

＝ 国内主要ターゲットにおける  
最大売上想定  
**1,597**億円

ターゲット顧客 (3,899社 + 26,779社) × 顧客単価434千円/月 × 12ヶ月

# グローバルで見たKUSANAGIライセンスの潜在市場

KUSANAGIマネージドサービスだけでなく、KUSANAGI有償版及び知的財産の提供についても高い成長が見込まれます。  
KUSANAGI導入サイトは全体の一部であり、認知度向上から利用増・売上増が見込めます。

世界のアクティブWEBサイト数 **2億**サイト

WordPressで構築された世界のアクティブWEBサイト数

**8,660**万サイト (計算上)

約1,300倍

超高速CMS実行環境

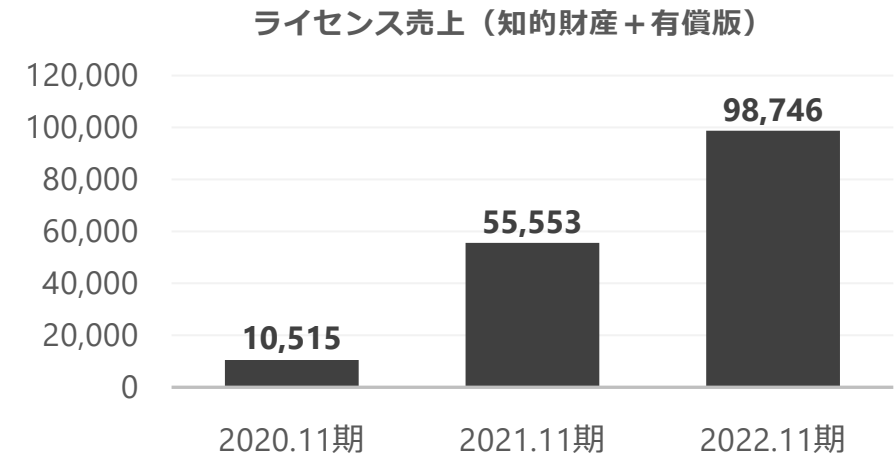
KUSANAGI

Powered by Prime Strategy

累計稼働台数 **7**万台

KUSANAGI 累計稼働台数の推移

時期	累計稼働台数
2016年11月	~5,000
2017年7月	~10,000
2018年7月	~20,000
2019年6月	~30,000
2020年4月	~40,000
2021年5月	~50,000
2022年6月	~60,000



**98,746**千円  
×

成長可能性 約1,300倍

グローバルでのライセンス売上の高い成長が見込まれる

# 目次

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. KUSANAGI開発状況

6. ESGへの取り組み

7. 四半期ハイライト

今後のビジネス展開

CMSプラットフォーム統合サービスの展開

国内・海外ライセンス展開

ハイパーオートメーション

# 今後のビジネス展開

## 高い利益率を誇る グローバルソフトウェア企業としての成長

2022.11期  
当社売上高伸張幅

**前年比 37%増**

約70%寄与  
CMSプラットフォーム  
統合サービス

約20%寄与  
ライセンス展開  
(知的財産権)

新規事業による事業セグメントの拡大  
ハイパーオートメーション (新規事業)

ライセンスの海外・国内展開によるさらなる高利益率体制へ  
国内・海外ライセンス展開 (既存事業)

KUSANAGIマネージドサービスの安定的成長  
CMSプラットフォーム統合サービス KUSANAGIマネージドサービス (既存事業)

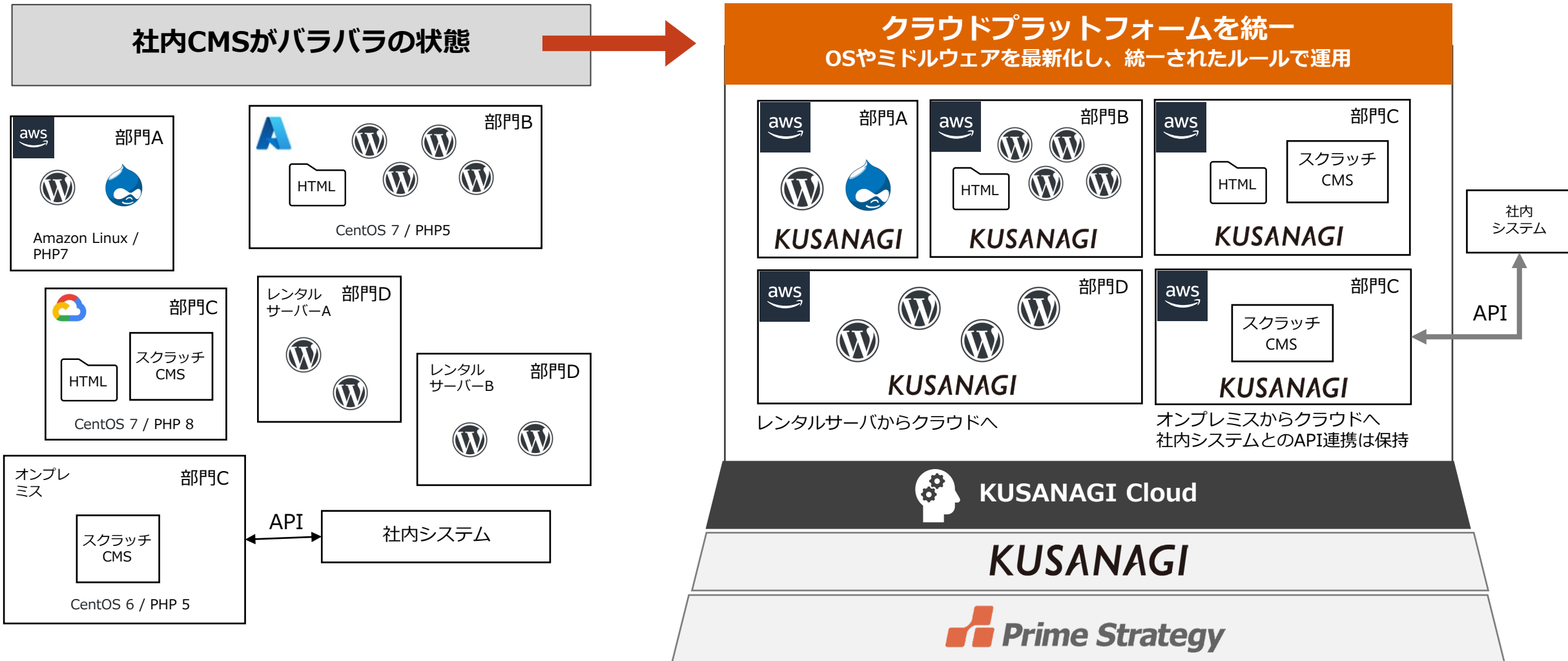
知的資本の形成

時間

# 短期的展開～CMSプラットフォーム統合サービス

上場企業を中心に、部門・グループ・サービスサイトなど、増え続けるCMSの運用プラットフォームを統合し、共通の運用ルールのもとで高速に、安全に運用するサービスです。

## デジタルガバナンスのニーズ



# 短・中期的展開～国内・海外ライセンス展開



Microsoft Azure

aws



Google Cloud Platform

合計30クラウド事業者

## 特許協力条約の規定による国際出願済み

戦略AI **Da▼id**

ウェブコンテンツの自動高速表示制御方法

[ウェクサル] **WEXAL**<sup>®</sup>  
Page Speed Technology

ウェブコンテンツの自動表示制御方法

地域	知財提携	マーケットプレイス
日本	2社	◎
アジア	TBD	◎
北米	TBD	◎
大洋州	TBD	○
中南米	TBD	○
欧州	TBD	◎
中東	TBD	○
アフリカ	TBD	○

提携先企業の開拓を実施

# 補足：国際予備審査の結果

WEXAL

(WO2021117268 - ウェブコンテンツの自動表示制御方法)

<https://patentscope2.wipo.int/search/en/detail.jsf?docId=WO2021117268>

特許性に関する国際予備報告		国際出願番号
		PCT/JP2020/020024
第V欄	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明	
1. 見解		
新規性 (N)	請求項 2, 4, 10, 13	有
	請求項 _____	無
進歩性 (IS)	請求項 2, 4, 10, 13	有
	請求項 _____	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求項 2, 4, 10, 13	有
	請求項 _____	無

David

(WO2021234882 - ウェブコンテンツの自動高速表示制御方法)

<https://patentscope2.wipo.int/search/en/detail.jsf?docId=WO2021234882>

国際調査機関の見解書		国際出願番号
		PCT/JP2020/020025
第V欄	新規性、進歩性及び産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に基づく見解並びにその見解を裏付ける文献及び説明	
1. 見解		
新規性 (N)	請求項 1-11	有
	請求項 _____	無
進歩性 (IS)	請求項 1-11	有
	請求項 _____	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求項 1-11	有
	請求項 _____	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7):

US 2017/0213225 A1 (INTERNAT 段落[0027]-[0041], [0052])  
 JP 2004-159212 A (日本電信電 段落[0034], [0038])  
 JP 2003-281030 A (キヤノン株 段落[0027]-[0031], [0044])  
 JP 2001-154983 A (日本電気株 段落[0029]-[0030], [0033])  
 & US 2001/0003194 A1 段落[0045]-[0046], [0049])  
 JP 2015-22532 A (株式会社ゼン 段落[0066]-[0075]及び図3 「WEXAL モバイル表示高速化サ 表、Google 「PageSpeed Insig 2020.08.03」、インターネット: pressrelease/> 全文、全図

○請求項 2, 4, 10, 13  
 請求項 2, 4, 10, 13に 文献1-6には 「ウェブサーバが利用できる記憶領域に保存されたオリジナルデータが加工されて、複数の加工済 データが生成されるシステムが

**国際予備審査において**

- ・ 発明の新規性
- ・ 進歩性
- ・ 産業上の利用可能性

**のすべてにおいて認められる見解**

2016-07-14)

8.04.2019(2019-04-18)

れの文献にも記載されておらず、

を高速化するために、動的構成要素、ウェブページの多数のリクエス 含む共通成分が、前記要求に回答

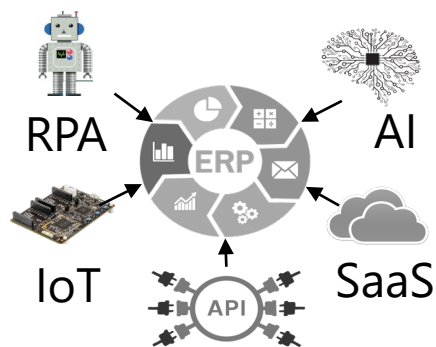
ーネットの機能及び/または動作を ページ表示コンポーネントの特徴 ネットの共通特性を表すことがで 基づいて、ウェブページ表示コン ポーネントの特徴モデルに最も一致する制御を識別し、制御の機能特徴は、制御の機能属性を示す



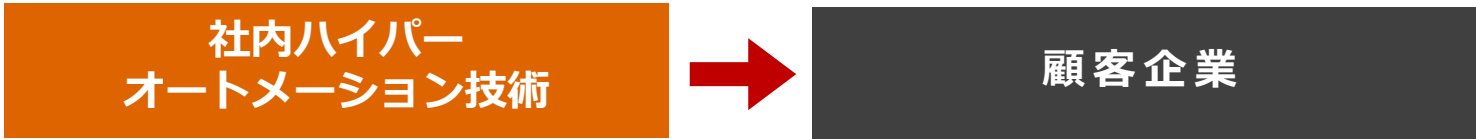
# 中長期的展開～ハイパーオートメーション

## KUSANAGI Cloudで培ったハイパーオートメーション技術の他社展開

注目されている技術である「ハイパーオートメーション」はKUSANAGI Cloud上で多く利用され、社内の技術的蓄積が進んでいます。技術を顧客企業向けに展開し、ハイパーオートメーション事業として育てていきます。



ハイパーオートメーション  
**KUSANAGI Cloud**  
 AIによる自動化と的確なエスカレーション



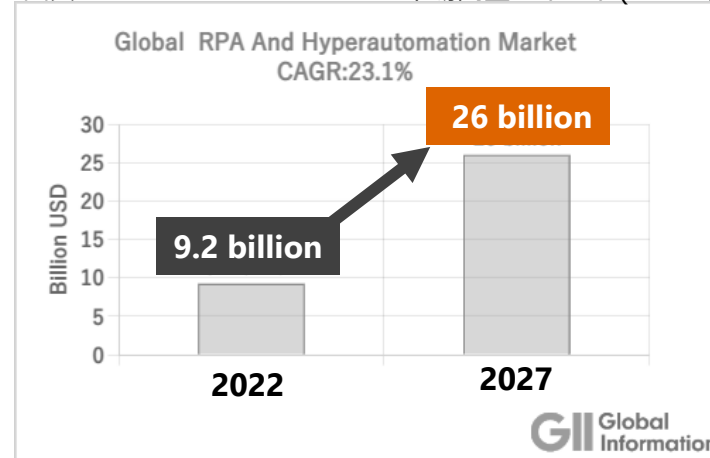
Gartner、2022年の戦略的テクノロジーのトップ・トレンドを発表

出典：Gartner (2021年11月)

Gartnerの 2022年の 戦略的 テクノロジーの トップ・トレンド	ジェネレーティブAI	成長を加速する
	オートミミック・システム	
	トータル・エクスペリエンス	
	分散型エンタプライズ	
変化を形づくる	AIエンジニアリング	
	<b>ハイパーオートメーション</b>	
	意思決定インテリジェンス	
信頼を構築する	コンポーザブル・アプリケーション	
	クラウド・ネイティブ・プラットフォーム	
	プライバシー強化コンピューテーション	
	サイバーセキュリティ・メッシュ	
	データ・ファブリック	

RPAおよびハイパーオートメーションの世界市場

出典：GII Global Information 市場調査レポート(2022年6月10日)



# 目次

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. KUSANAGI 開発状況

6. ESGへの取り組み

7. 四半期ハイライト

KUSANAGI Stack開発テーマ

KUSANAGI Stack機能強化履歴

KUSANAGI有償版にリスク分析機能を搭載

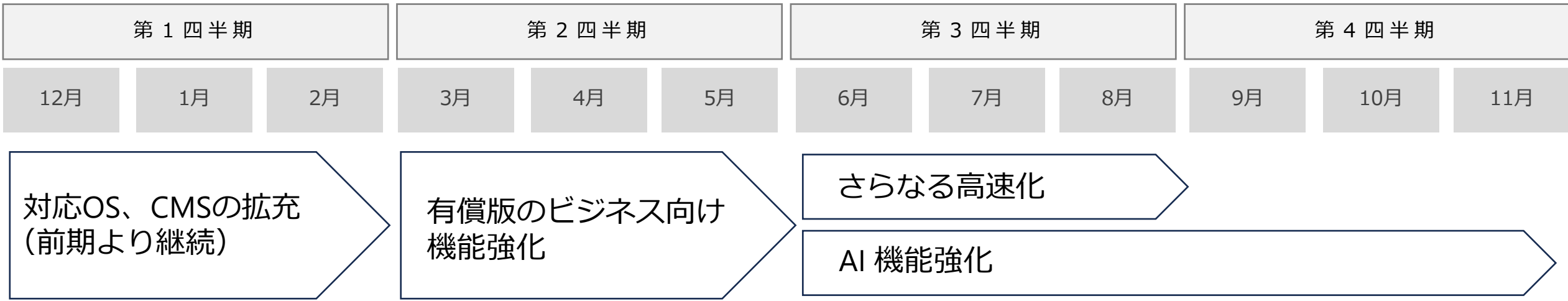
WordPress高速化「テーマアクセラレーター」

KUSANAGI 9 for VMwareの提供開始

# 2023年11月期 KUSANAGI Stack開発テーマ

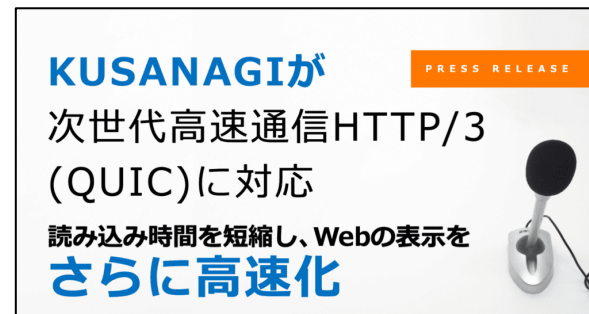
- 1 KUSANAGI 9の対応OSの拡充、プラットフォーム展開と移行の促進
- 2 ユーザーの皆様の利便性の向上
- 3 有償版販売プラットフォームの拡大、ビジネス利用の促進に向けた有償版の価値向上
- 4 国内外でのライセンス展開に向けたプロダクトの価値向上

## 四半期ごとのテーマ



# KUSANAGI Stack機能強化履歴

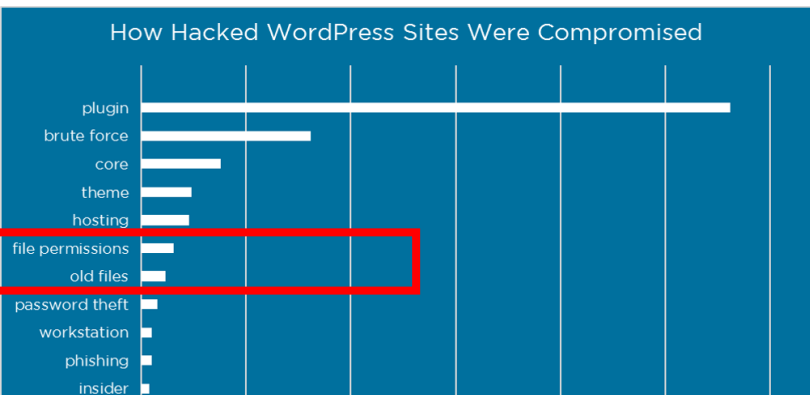
日付	更新内容
2023年8月10日	<u>KUSANAGI 9 for VMwareの提供開始</u>
2023年8月1日	<u>CentOS Stream 9対応版 KUSANAGI 9 for Vagrantの提供開始</u>
2023年7月31日	<u>WEXALでAIによるウェブページの検証機能「インスペクター」を提供開始</u>
2023年7月27日	<u>KUSANAGIがWordPressの表示をさらに高速化～「テーマアクセラレーター」がボトルネックを解析。表示速度を50%高速化も～</u>
2023年6月27日	<u>KUSANAGIが次世代高速通信HTTP/3 (QUIC)に対応～読み込み時間を短縮し、Webの表示をさらに高速化</u>
2023年4月24日	<u>KUSANAGIの運用の柔軟性が向上～異なるバージョンのPHPで動作するアプリケーションを1つのサーバで安全に運用する「KUSANAGI Container」</u>
2023年3月7日	<u>KUSANAGI 有償版にリスク分析機能を搭載</u>
2023年1月19日	<u>「KUSANAGI 9」がDrupalに対応 ～CMS統合サービス、海外での利用を推進～</u>
2022年12月29日	<u>KUSANAGI 9のAlmaLinux OS 9対応版 (Business Edition) の提供開始</u>



# KUSANAGI有償版にリスク分析機能を搭載

## リリース前や運用中のサーバにおける障害やセキュリティリスクにつながる潜在的な課題をチェック

長期間運用しているサイトや一つのサーバで複数のサイトを運用している環境では、構造も複雑化しているため、セキュリティのリスクや障害の原因となるファイルが把握できないまま放置されていることがあります。また古いアーカイブや大量のバックアップによるディスクの圧迫や設定の不備なども障害につながりうるリスクです。KUSANAGIの環境を分析してこのようなリスクを検出し、**改善方法を提案**します。



How Attackers Gain Access to WordPress Sites

<https://www.wordfence.com/blog/2016/03/attackers-gain-access-wordpress-sites/>

```
# kusanagi analyze
[全体]
(レベル:alert)
1年以上前のダンプファイルがあります。削除してください。
対象ファイル:
/home/kusanagi/kusanagi_html_20220301.dump
```

➡ **サーバの容量を圧迫し障害につながる可能性があるファイルの削除を提案**

```
[プロファイル名:kusanagi_dp_test]
(レベル:alert)
ドキュメントルート内にセキュリティ上問題となるファイル (.zip, .tar, .gz, .log, .sql, .dump, .php.xxx) が確認されました。削除するかドキュメントルート外に移動してください。
対象ファイル:
/home/kusanagi/kusanagi_dp_test/DocumentRoot/index.php.bak
```

➡ **公開領域にあるセキュリティのリスクになりうるファイルの削除、または移動を提案**

```
[プロファイル名:kusanagi_html]
(レベル:alert)
uploadsのパーミッションが適切ではありません。ファイルオーナーはhttpd.www、パーミッションは0775に修正してください。

(レベル:notice)
ドキュメントルート内に phpinfno を含むコード、または phpMyAdmin が検出されました。クラッキングのセキュリティリスクがありますので、公開している環境では特に該当コード、ツールの利用を控えてください。
対象ファイル:
/home/kusanagi/kusanagi_html/DocumentRoot/phpinfo.php
```

➡ **ディレクトリの権限の設定不備の修正を提案**

➡ **セキュリティリスクとなるツールやコードの利用を控えることを推奨**

```
(レベル:info)
wp-config.phpがドキュメントルートの中にあります。
/home/kusanagi/kusanagi_html/DocumentRoot/wp-config.php を /home/kusanagi/kusanagi_html/wp-config.php に移動してください
```

➡ **重要な設定ファイルを安全な場所に移動することを推奨**

```
analyze completed.
#
```



# WordPress 高速化 「テーマアクセラレーター」

KUSANAGIがWordPressの表示をさらに高速化

「テーマアクセラレーター」がボトルネックを解析。表示速度を50%高速化も

**表示速度を50%高速化**、できる限り容易に高速化ができる環境を提供

「テーマアクセラレーター」は、WordPressのテーマを解析し、表示速度のボトルネックとなりうる部分を再利用することで表示速度を改善します。**ユーザーはテーマのカスタマイズやプラグインの導入をすることなく、WordPressサイトの表示を高速化**することができます。

条件	一般テーマ 一覧ページ	一般テーマ 詳細ページ	FSEテーマ 一覧ページ	FSEテーマ 詳細ページ
無効化	2142ms 0%時間削減	1304ms 0%	1281ms 0%	1426ms 0%
header footer部分有効化	1204ms 43.8%時間削減	1032ms 20.9%	1178ms 8.0%	1372ms 3.8%
全部機能有効化	957ms <b>55.3%</b> 時間削減	1184ms 9.2%	1141ms 10.9%	1287ms 9.7%

実際数値はサイトのデータや構造、ネットワーク環境によって異なります。

テーマアクセラレーター なし

ヘッダ  
タイトル  
部品  
右カラム  
本文

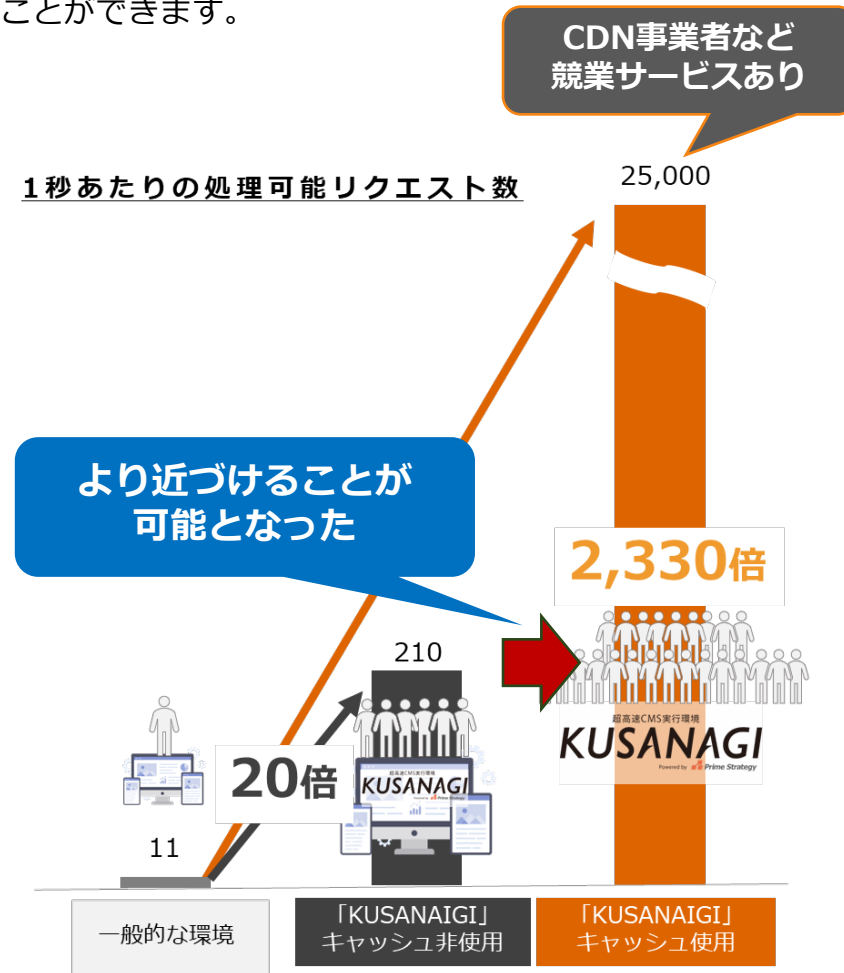
テーマアクセラレーター あり

ヘッダ  
タイトル  
部品  
右カラム  
本文

キャッシュ非使用

今まではどちらかだった

キャッシュ使用



従来型、最新型のテーマを自動的に判定して最適な高速化を手法を適用

# KUSANAGI 9 for VMwareの提供開始



※KUSANAGI 8 for VMwareは以前より提供済み

VMware版の提供により、オンプレミス環境でKUSANAGI9が利用可能

オンプレミス環境でKUSANAGI9が利用できることにより、そこから発展して、「プライベートクラウド」「ハイブリッドクラウド」「マルチクラウド」など**クラウド利用のすべての構成パターンにおいてKUSANAGIが利用できるようになります**。企業内システムでのKUSANAGIの利用促進に繋がる他、クラウドが利用できない企業もKUSANAGIが利用できるようになります。



	ハイブリッドクラウド	マルチクラウド
概要	オンプレミス環境（プライベートクラウドを含む）を、1つまたは複数のパブリッククラウドと組み合わせるモデル	複数のパブリッククラウドを組み合わせるモデル
概略図	<p>プライベートクラウド オンプレミス環境 自社環境</p> <p>接続 パブリッククラウド</p>	<p>パブリッククラウド aws Microsoft Azure パブリッククラウド Google Cloud Platform</p> <p>接続</p>



# 目次

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. KUSANAGI 開発状況

6. ESG への取り組み

7. 四半期ハイライト

コーポレート・ガバナンスへの取り組み

社会への取り組み

環境への取り組み



# ESG～コーポレート・ガバナンスへの取り組み

## 1. 指名・報酬委員会を設置

社外取締役を委員長とし、半数以上の委員を社外取締役で構成する指名・報酬委員会を設置

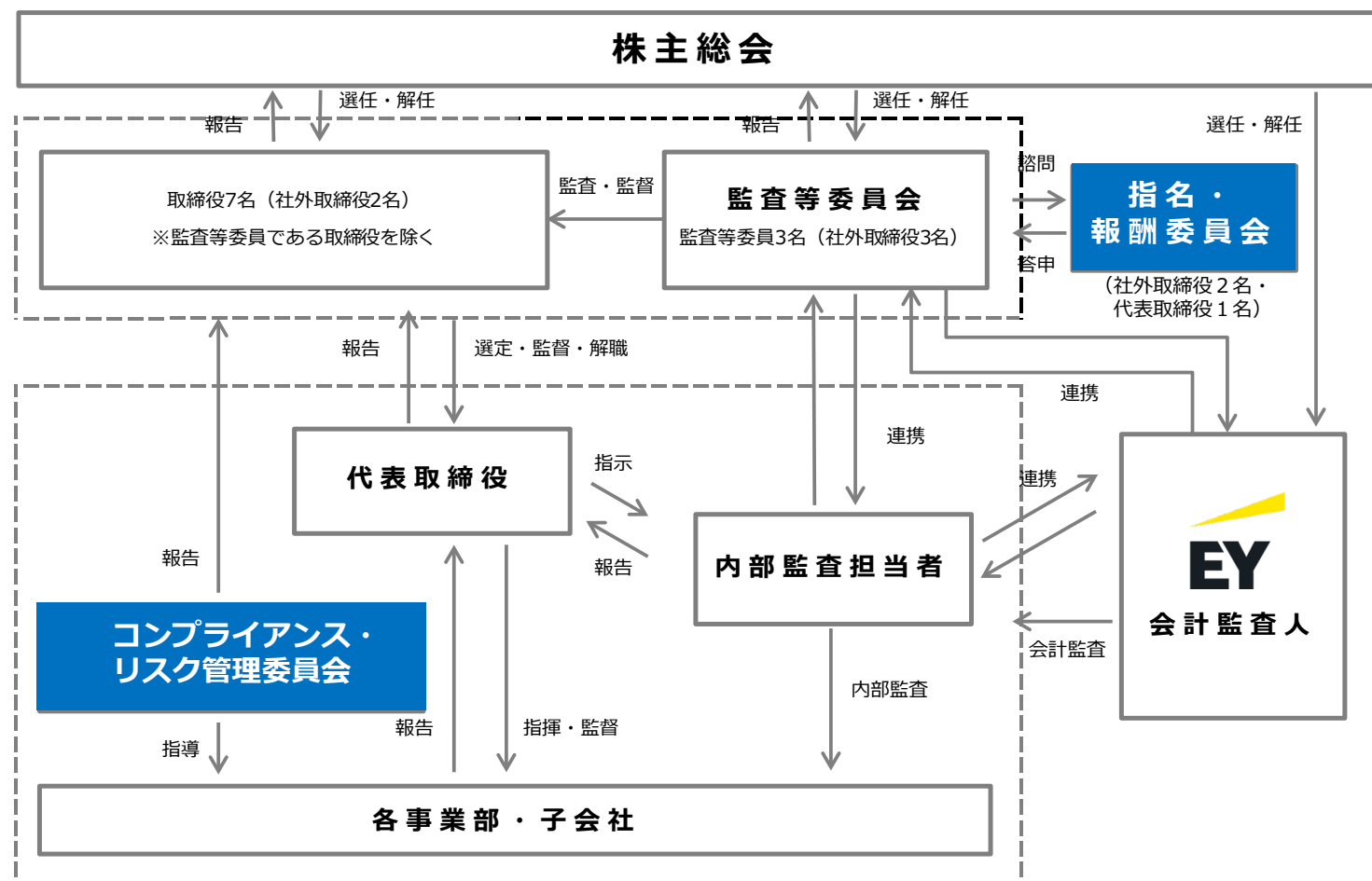
## 2. コンプライアンス・リスク管理委員会を設置

経営課題としてコンプライアンス・リスクマネジメントに注力

当社グループのコンプライアンス・リスクマネジメントに関する分析、評価、対応の検討を行い、内在するリスクの把握や顕在化する蓋然性等を取締役会に報告するなど、法令違反や不正行為等の早期発見や未然防止に努めている

## 3. 独立役員

当社の社外取締役5名全員は、株式会社東京証券取引所の独立役員の基準を満たしていますので、同所に対し独立役員として届け出ています



コーポレート・ガバナンス情報（最終更新日：2023/8/17）  
<https://www2.jpx.co.jp/disc/52500/140120230816543359.pdf>

# ESG ~ 社会への取り組み

## OSSとは?

オープンソースソフトウェア

利用者がソースコードを使用、調査、再利用、修正、拡張、再配布することが可能なソフトウェアの総称。

## 当社企業理念

すべてはエンタープライズOSS  
エコシステム発展のために。

より高速に、より安全に、より安心してオープンソースソフトウェアをお客様のビジネスでご活用いただくために、私たちは、IT業界におけるユーザーの期待とベンダーの現実のギャップを解消し、エンタープライズOSS（オープンソースソフトウェア）エコシステム発展のために全力を尽くして参ります。



### オープンソースのWordPressの テーマ5本、公式プラグイン11本 リリース ※提供終了を含む



#### Theme

- Auroral Theme
- Dark Marble
- glass
- Sea Cruise
- space



#### Plug-in

- 001-prime-strategy-translate-accelerator
- all-in-one-sub-navi-widget
- meta-manager
- prime-strategy-bread-crumbs
- prime-strategy-page-navi
- prime-timeline
- ps-auto-sitemap
- ps-disable-auto-formatting
- ps-taxonomy-expander
- ps-wp-multi-domain
- wp-sitemanager

### 各種オープンソース関連の イベントにスポンサー協力を実施



phpcon

MTDIDC | Movable Type  
Developers & Designers  
Conference

### オープンソースのプログラミング言語で あるPythonとPHPの技術者認定試験のため の無償模擬試験サイトを運営



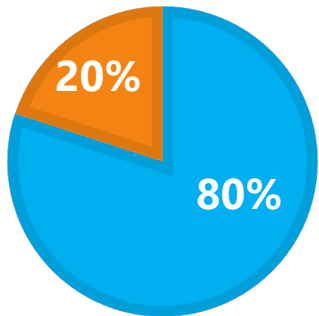
開始3年で延べ受験回数  
15万回を突破

# ESG～社会への取り組み

## 1. 男女比率

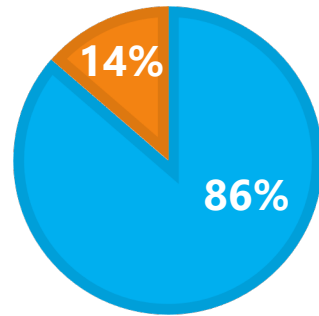
取締役 男女比率

■ 男性 ■ 女性



従業員 男女比率

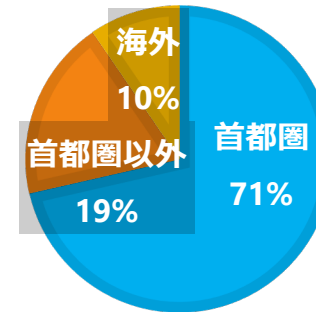
■ 男性 ■ 女性



## 2. ワーク・ライフ・バランス

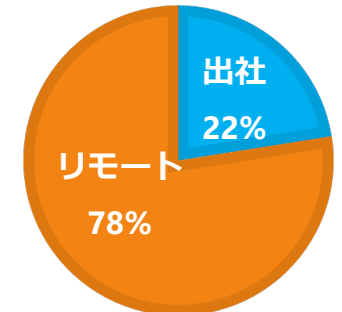
勤務地比率

■ 首都圏 ■ 首都圏以外 ■ 海外



出社・リモート比率

■ 出社 ■ リモート



## 3. 2021年4月以降、各月とも36協定を遵守

2021年4月以降、一般職は45時間（残業時間に法定休日勤務を含めた時間）を、管理監督者は80時間を超える残業を行った月は発生していない

# ESG～環境への取り組み



増加傾向にあるデータセンターサービス市場やパブリッククラウドサービス市場でこれからも多くのサーバーが必要となる。サーバー増からの環境負荷の抑制のために**高速化ソリューションによる地球環境への貢献を続けていきます。**



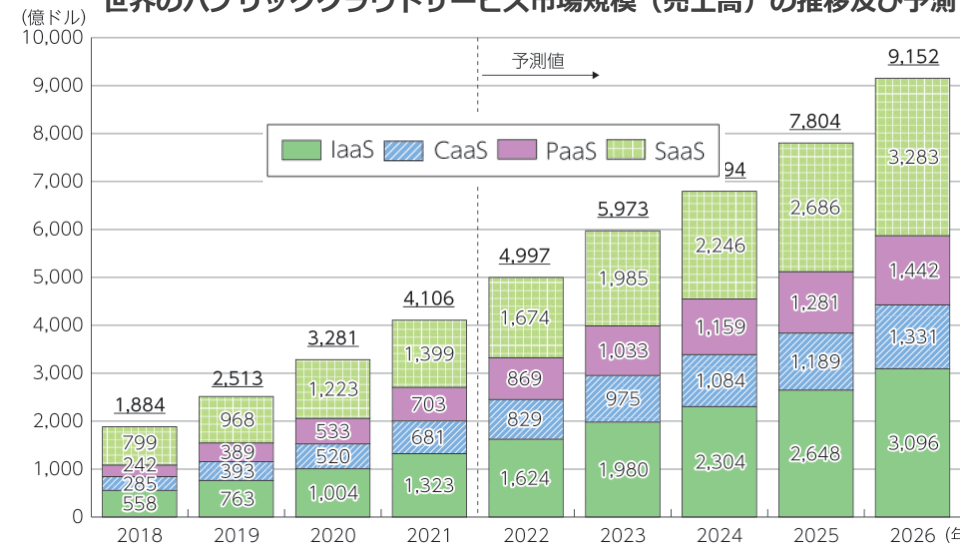
## KUSANAGI



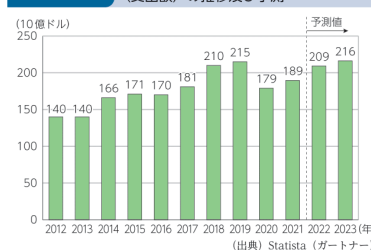
- **サーバが1台減少すると、およそ12.5トンのCO2排出量削減**効果が得られる ※標準的な2CPUのサーバの場合
- サーバ1台が排出するCO2を吸収するためには、55本の植林が必要  
※3ドルの木を55本植林すると毎年165ドルのコストが掛る
- **サーバ1台当たりのCO2排出量は、1.5台分の車のCO2排出量に相当する**  
※1ガロン当たり20マイルの燃費で1万2000マイル走行するのに相当  
グイェムウェア株式会社（2008年調べ）

### 総務省 令和5年版情報通信白書

世界のパブリッククラウドサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



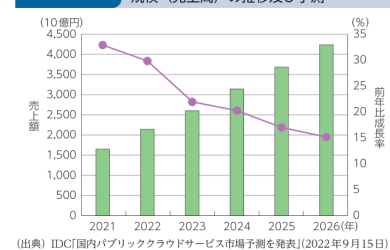
図表 4-8-1-1 世界のデータセンターシステム市場規模（支出額）の推移及び予測



図表 4-8-1-2 日本のデータセンターサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



図表 4-8-2-3 日本のパブリッククラウドサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



(出典) IDC「国内パブリッククラウドサービス市場予測を公表」(2022年9月15日)\*\*

# 目次

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. KUSANAGI開発状況

6. ESGへの取り組み

7. 四半期ハイライト

主要数値情報・KPI

P/Lサマリー

コスト構造 2023.11期3Q

四半期推移

B/Sサマリー

成長戦略進捗状況

通期の見通し

# 主要数値情報・K P I

売上高 (2023.11期予想 [連結])

**9.2億円**

2022.11期  
7.7億円

KUSANAGIマネージドサービス  
顧客数 (2023年8月時点 [単体])

**114社**

2022年11月時点  
114社

KUSANAGI累計稼働台数  
(2023年2月時点)

**7万台**

営業利益率 (2023.11期予想[連結])

**39.0%**

2022.11期  
38.5%

KUSANAGIマネージドサービス  
顧客単価 (2023年8月時点 [単体])

**434千円/月**

2022年11月時点  
448千円/月

KUSANAGI提供プラットフォーム  
(2023年8月時点)

世界**34**ヶ国**214**地域  
**30**プラットフォーム

ストック型売上高割合  
(2023.11期予想[連結])

**84.9%**

2022.11期  
77.5%

KUSANAGIマネージドサービス  
MRR (2023年8月時点 [単体]) (注1)

**49,574千円**

2022年11月時点  
51,020千円

ライセンス提供  
MRR (2023年8月時点 [連結]) (注1)

**11,515千円**

2022年11月時点  
9,374千円 (注2)

(注1) MRR (月次経常収益) : 翌月以降も継続して売上が見込める数字

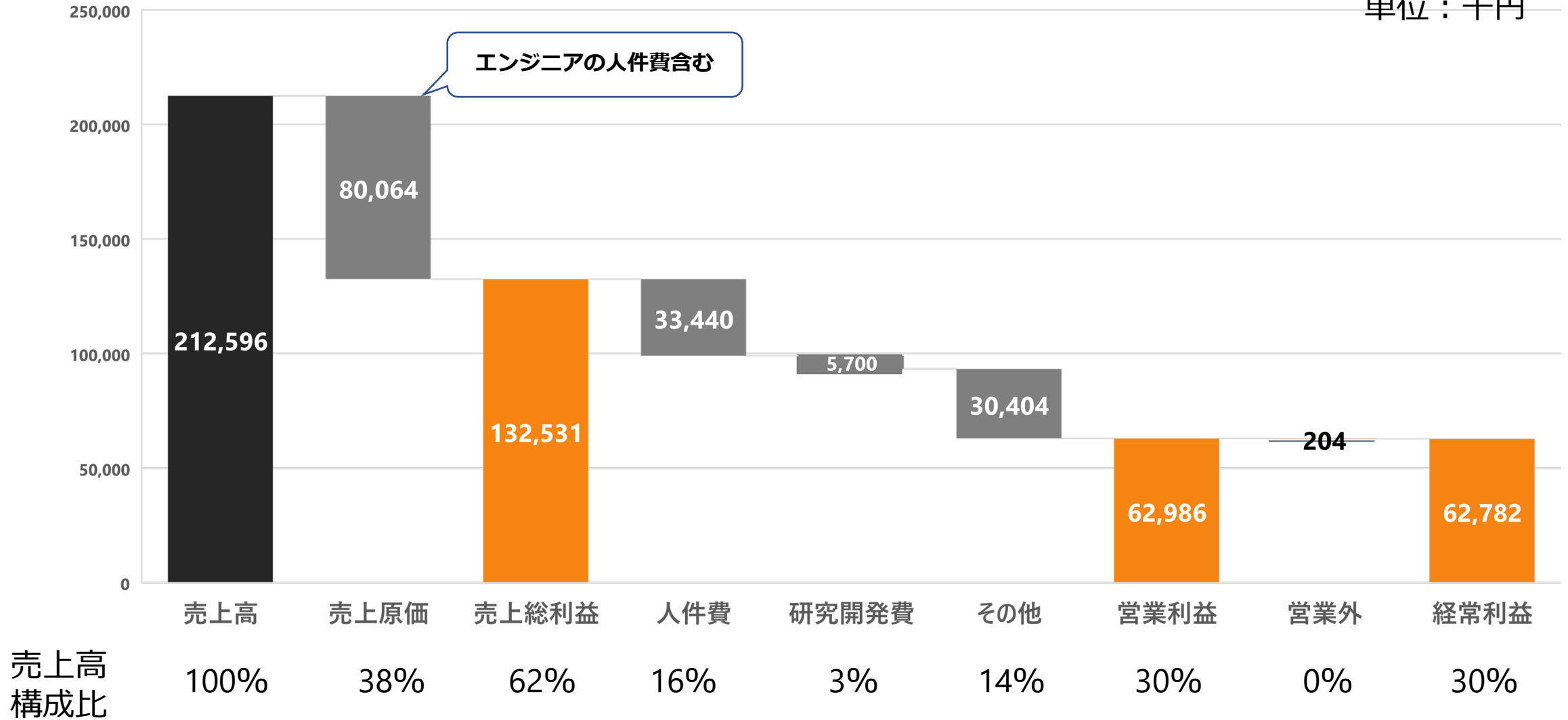
# P / L サマリー

第3四半期累計の売上高から売上総利益までは概ね計画通りに進捗しております。しかし、販管費において広告宣伝費及び支払報酬料の増額（ともに先行投資としてコンテンツマーケティング施策を追加実施するため）があり、また他の費用項目との調整は行わないこととしたため、営業・経常利益については計画より若干下振れしております。

(千円)	2023.11期-3Q					2023.11期-3Q累計			【参考】 2023.11期 (通期計画)
	前年同期	前四半期	当期	前年同期比	前四半期比	前年同期	当期	前年同期比	
<b>売上高</b>	202,460	217,807	212,596	105.0%	97.6%	534,575	653,081	122.2%	920,774
KUSANAGIマネージド サービス (ストック売上高)	131,079	153,789	151,022	115.2%	98.2%	346,864	460,242	132.7%	646,501
クラウドインテグレーション サービス (フロー売上高)	42,263	32,732	26,698	63.2%	81.6%	117,509	94,698	80.6%	138,345
ライセンス販売 (ライセンス売上高)	29,117	31,284	34,875	119.8%	111.5%	70,201	98,140	139.8%	135,927
<b>原価</b>	55,763	72,598	80,064	143.6%	110.3%	152,938	220,072	143.9%	293,794
<b>売上総利益</b>	146,697	145,208	132,531	90.3%	91.3%	381,637	433,009	113.5%	626,979
<b>販管費及び一般管理費</b>	62,646	68,801	69,545	111.0%	101.1%	183,034	210,877	115.2%	268,316
<b>営業利益</b>	84,050	76,406	62,986	74.9%	82.4%	198,602	222,131	111.8%	358,663
<b>経常利益</b>	83,503	75,882	62,782	75.2%	82.7%	197,269	200,833	101.8%	335,443

# コスト構造 2023.11期3Q

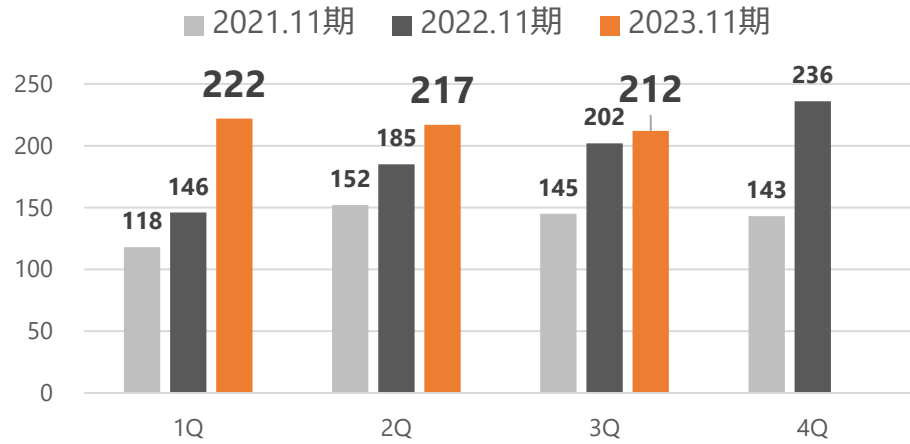
単位：千円



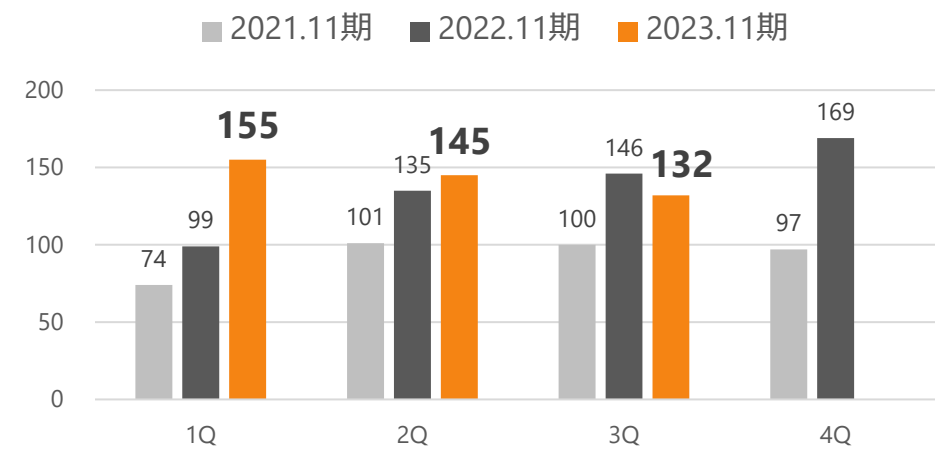


# 四半期推移（全体）

## 売上高の推移

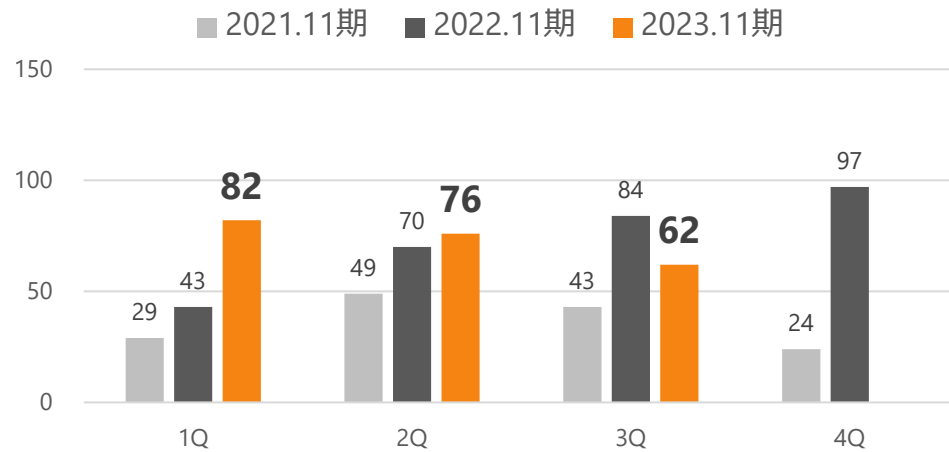


## 売上総利益の推移

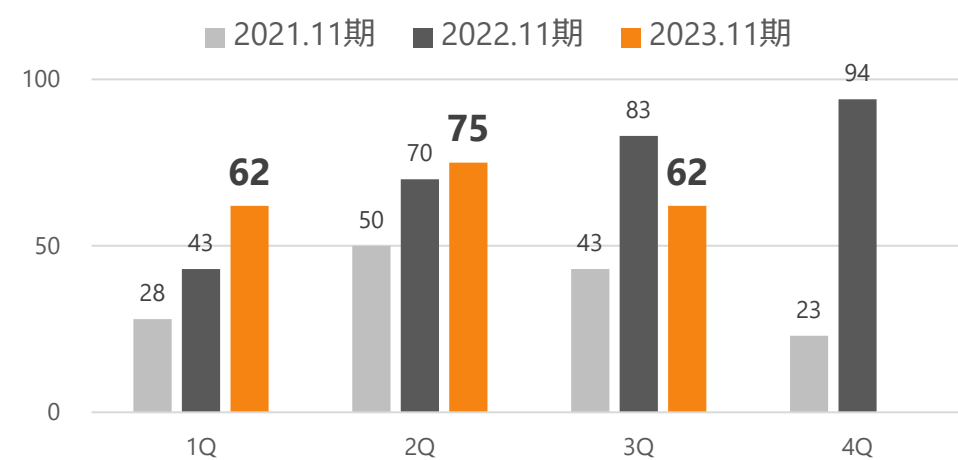


単位：百万円

## 営業利益の推移



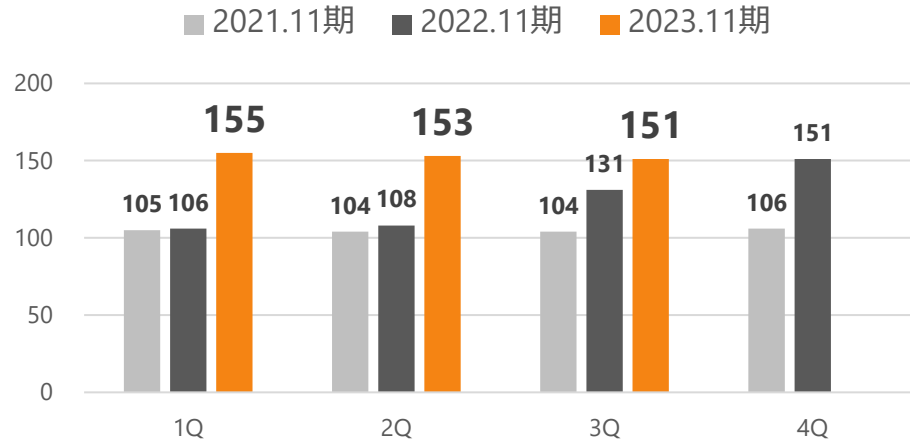
## 経常利益の推移



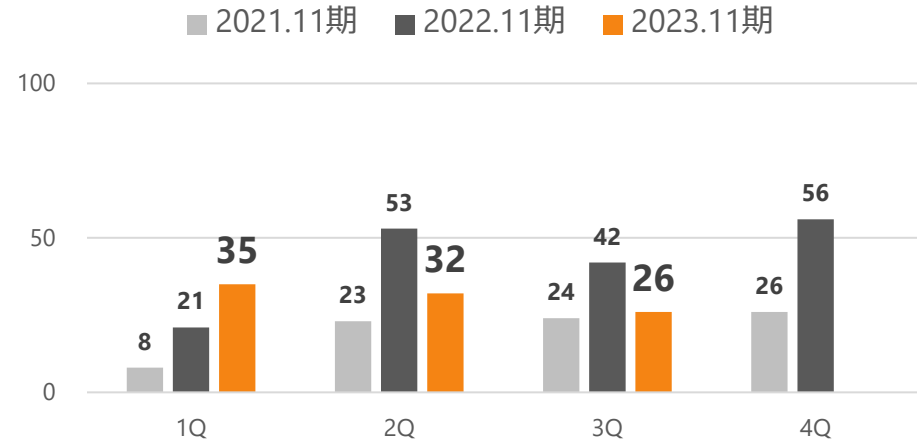
※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。

# 四半期推移（サービス別）

## KUSANAGIマネージドサービス 売上高の推移

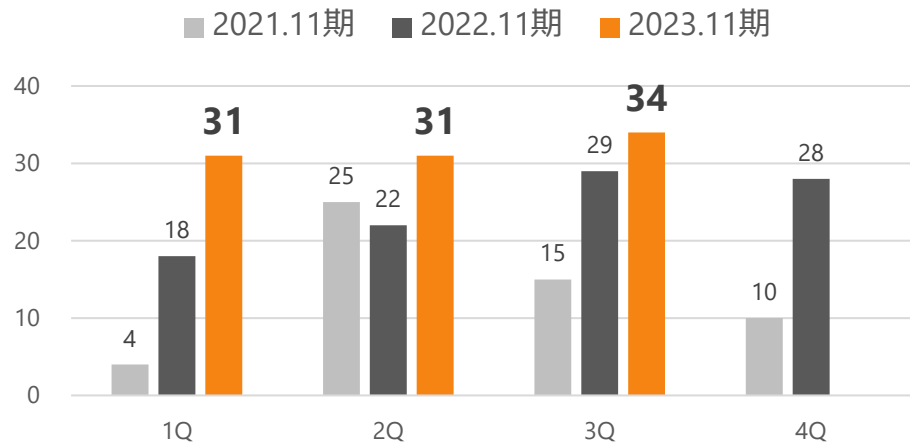


## クラウドインテグレーションサービス 売上高の推移



単位：百万円

## ライセンス販売 売上高の推移



※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。

# B / S サマリー

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預金	558,684	1,279,829
売掛金	77,192	73,936
その他	30,798	33,117
<b>流動資産合計</b>	666,675	1,386,882
有形固定資産	1,850	1,553
無形固定資産	31,899	29,821
投資その他の資産	28,683	36,370
<b>固定資産合計</b>	62,434	67,745
<b>資産合計</b>	729,110	1,454,628

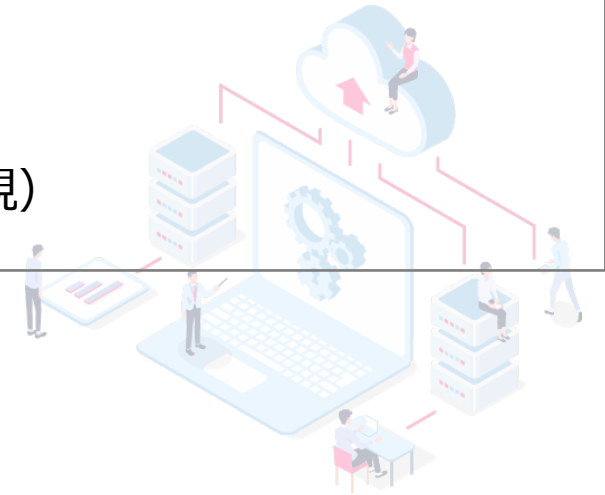
単位：千円

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
買掛金	21,675	21,789
1年内返済予定の長期借入金	54,844	32,359
その他	162,161	85,019
<b>流動負債合計</b>	238,680	139,167
長期借入金	156,445	60,864
<b>固定負債合計</b>	156,445	60,864
<b>負債合計</b>	395,125	200,031
<b>純資産の部</b>		
資本金	40,000	429,394
資本剰余金	134	389,529
利益剰余金	288,804	428,543
自己株式	—	△ 96
<b>株主資本合計</b>	328,938	1,247,370
その他の包括利益累計額	5,045	7,226
<b>純資産合計</b>	333,984	1,254,596
<b>負債純資産合計</b>	729,110	1,454,628

# 成長戦略進捗状況

## 短期的展開 : CMSプラットフォーム統合サービス

- 事例を活用した大型案件の獲得（継続）
- パートナーとの連携強化を通じた新規顧客接点の拡大（継続）
- WordPress脆弱性診断サービスの展開を起点とした顧客へのアクション（新規）



# 成長戦略進捗状況

## KUSANAGI マネージドサービス

- 6/1より営業専任担当者を1名採用
- さらなる営業力の強化に向けて営業代行会社と契約を実施  
(具体的な提案活動は10月より実施)

## KUSANAGIマネージドサービス推移

	2020.11期	2021.11期	2022.11期	2023.11期 1Q	2023.11期 2Q	2023.11期 3Q
MRR (百万円)	36	35	51	52	51	49
顧客数 (社数)	125	114	114	114	116	114
新規顧客数	17	14	10	4	(注1) 4	1
解約顧客数	37	25	10	4	2	3
顧客単価 (千円)	292	301	363	457	439	434
解約率 (%)	1.9	1.5	0.7	1.14	0.56	0.85
サイト数	-	-	267	274	276	273

(注1) 2023年11月期第2四半期決算説明資料に記載の、2023.11期-2Qの新規顧客数は「1」ではなく「4」でありました。お詫びの上、訂正させていただきます。  
青字箇所は新規顧客数の訂正に関連し、変更となった個所となります。

# 成長戦略進捗状況

## 短・中期期的展開：国内・海外ライセンス展開

- 2023年8月24日から26日にアメリカで開催された「WordCamp US 2023」にスポンサーとして参加、ライセンス提供が見込める顧客との関係強化を行う
- 知的財産権のライセンス展開を加速させるため、グーグル出身の金谷武明氏を海外マーケティング顧問に就任いただく
- 国内プラットフォーム事業者と技術検証・商談を実施・継続



### 金谷武明氏のコメント

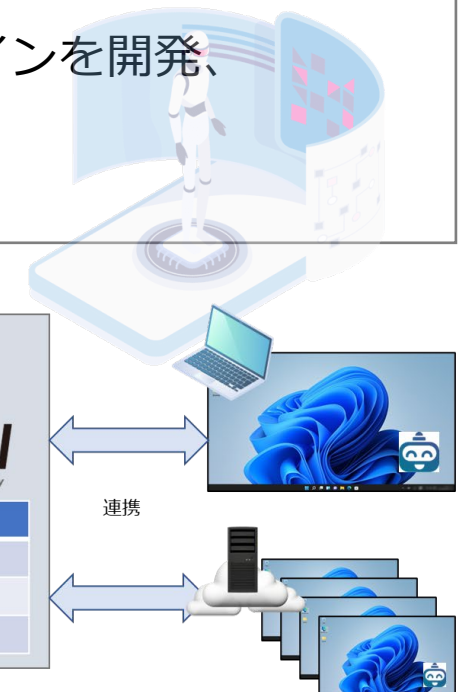
“今回独立するに当たり、将来の活動について様々な目標を設定しました。その一つが日本の先進的な技術やサービスを海外へ広げるサポートを行うことでした。過去のイベントで何度もプライム・ストラテジーの製品についてお話を伺う機会があり、その技術力と品質の高さから、海外でも十分通用すると確信しています。海外展開のサポートは、私自身にとっても新たな挑戦ですが、これまでの経験、知識、そしてネットワークを最大限に活用し、少しでもお役に立てるよう全力で取り組みます。

株式会社 Digital Evangelist  
代表取締役 金谷武明氏

# 成長戦略進捗状況

## 中期的展開：ハイパーオートメーション

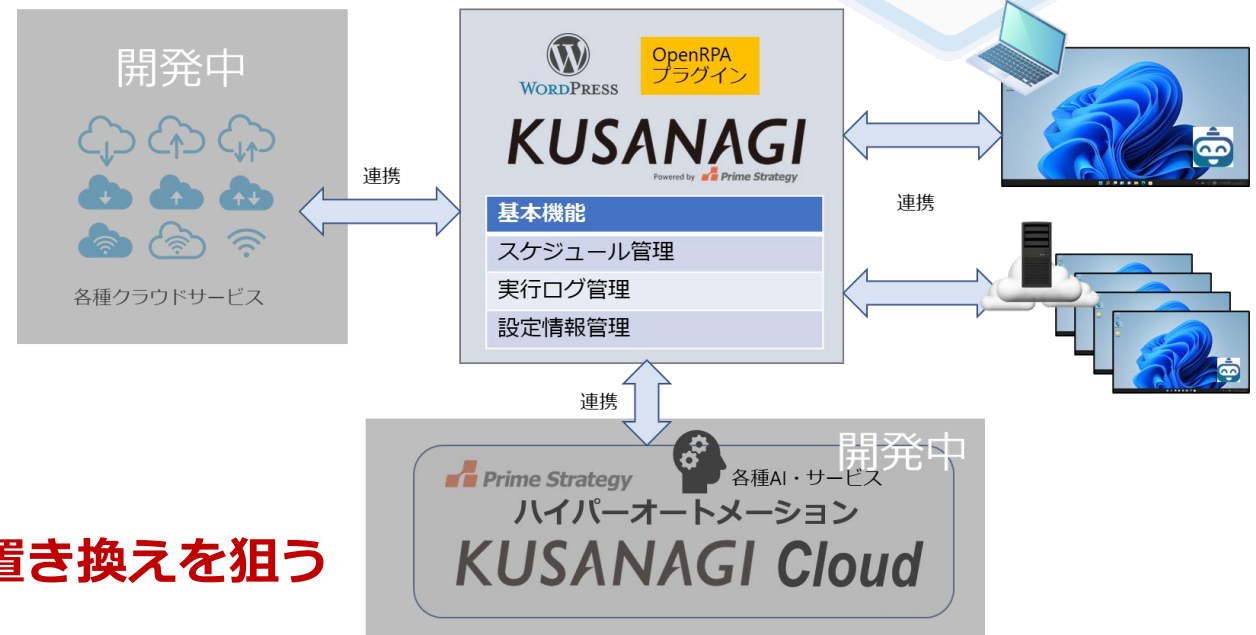
- オープンソースのRPA「 **OPENRPA**」の実行管理を行うWordPressプラグインを開発、WordPress公式プラグインとして申請中（2023/10に公開予定）



2023年5月30日 報道発表資料より

### ハイパーオートメーションの実現に向けて

ハイパーオートメーションの実現に向けて、当社のプロダクトである超高速CMS実行環境「KUSANAGI」や当社内で開発・利用しているハイパーオートメーション基盤である「KUSANAGI Cloud」とOpenRPAの連携を実現するための、WordPressプラグイン（無償）を開発中です。OpenRPAの実行制御を基本機能とし、「KUSANAGI」や「KUSANAGI Cloud」が持つ自動化機能やAIとの連携を開発提供していく予定です。



**既存のRPAのサーバー管理系ライセンスからの置き換えを狙う**

# 通期の見通し

通期の業績予想の変更はありませんが、売上高・各利益項目とも下振れして着地する見込みである。

## 売上高/KPIの見通し

### 通期業績予想は据え置き

ライセンス販売は概ね計画通りに推移しておりますが、KUSANAGIマネージドサービスの新規契約の積み増し不足により、計画より若干下振れする見込み。顧客数も当初契約より下振れで着地見込み。

## 利益/費用の見通し

### 利益項目は当初計画から15%程度下振れする見込み

成長戦略3分野に向けての広告宣伝費・支払報酬料（4Qからの営業代行会社との契約を含む）の増額及び売上高の減少により、トータルで各利益項目は当初予算から15%程度下振れする見込みである。

## その他

### 営業力・マーケティング力の強化

第3四半期は営業力の強化に向けて営業専任担当者の採用（1名）と営業代行会社との契約を実施いたしました。また、海外マーケティング強化のために外部顧問を招聘し、これらの施策を通じて、第4四半期及び来期の売上増を狙っていきたいと考えております。



# 補足情報

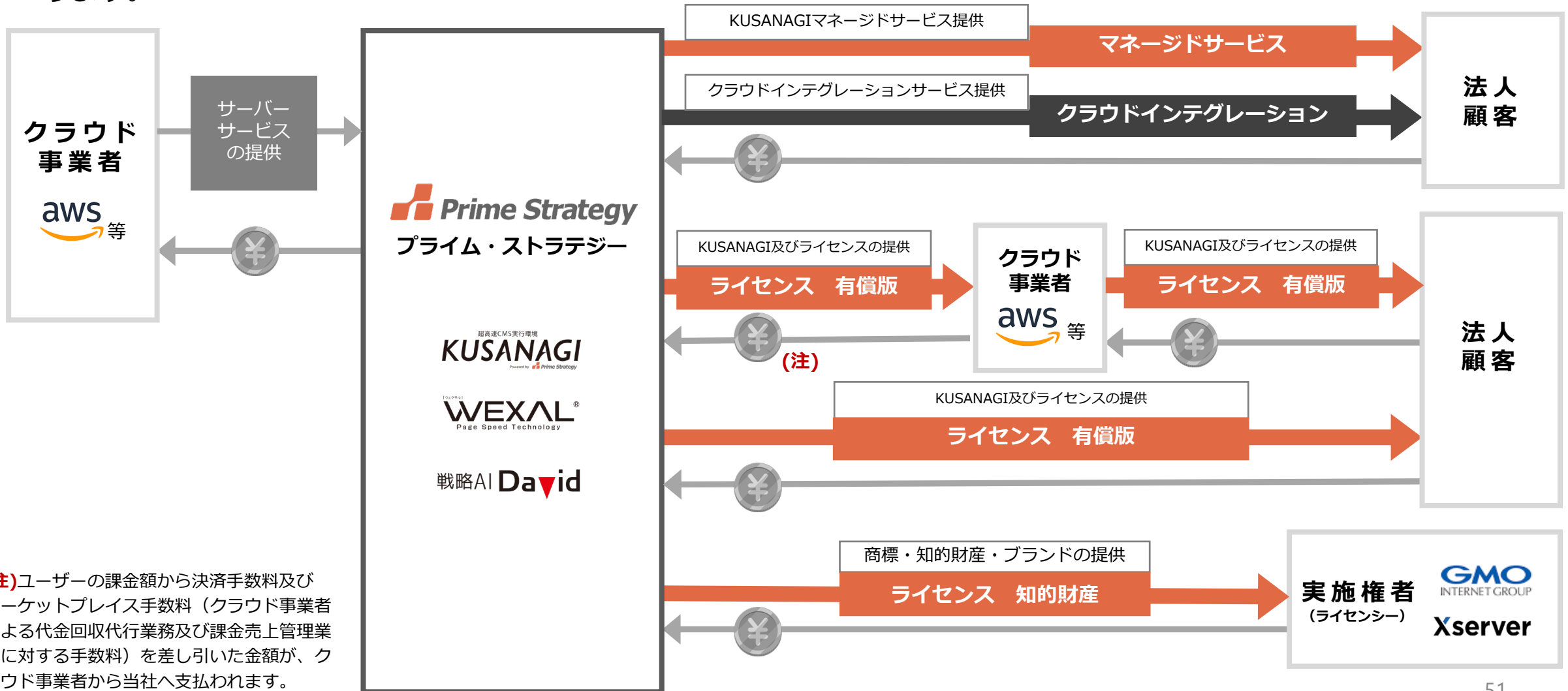
Appendix

# すべてはエンタープライズOSS エコシステム発展のために。

より高速に、より安全に、より安心してオープンソースソフトウェアをお客様のビジネスでご活用いただくために、私たちは、IT業界におけるユーザーの期待とベンダーの現実のギャップを解消し、エンタープライズOSS（オープンソースソフトウェア）エコシステム発展のために全力を尽くして参ります。

# サービス提供フロー（ビジネスモデル）

「KUSANAGI」を中心としたマネージドサービス、クラウドインテグレーションサービス、ライセンス提供の展開しております。



# CMSプラットフォーム統合サービスの展開（補足）

「CMSプラットフォーム統合サービス」は「KUSANAGIマネージドサービス」の発展型サービスとなり、顧客の分散・統合に関する課題を解決するサービスであります。Webガバナンス・デジタルガバナンスが企業に求められている中で、それを解決するサービスであります。



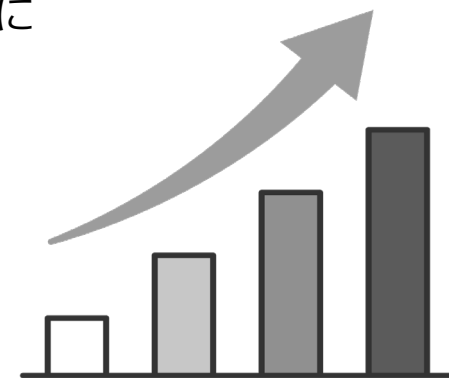
## CMSプラットフォーム 統合サービス

### 運用に関する課題

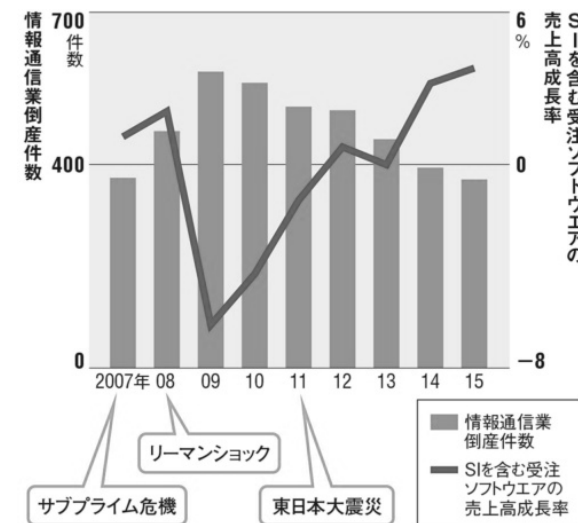
- セキュリティ対策に不安があるがどこから手をつけて良いかわからない
- Googleがページ速度を重視しているのは分かるが、表示速度の改善ってどうやればいいの。
- アクセスが集中するとサーバーが落ちて機会損失が発生している
- 夜中、休日の運用なんて無理。だれかにお願いしたい
- 保守会社がアプリケーション、サーバなど担当領域ごとに異なっているため、どこに依頼してよいかかわからない
- WordPressやサーバーについて相談する先がない

### 分散・統合に関する課題

- 運用環境が統一されていないため、どの部門がどのようなプラットフォームで運用しているのか把握が困難
- 標準的に利用するCMSが決まっていないため、複数のCMSで運用されており、セキュリティが心配
- アップデートなどのセキュリティ運用ルールを定めたいが、基準を策定する時間がない
- 部門やサイトごとに異なるベンダーに管理を依頼しているため、ルールを定めて運用したいがやり取りが煩雑
- オンプレ、クラウド、レンサーバなどの複数の基盤に分散しているCMSをひとつのクラウドに統合したい

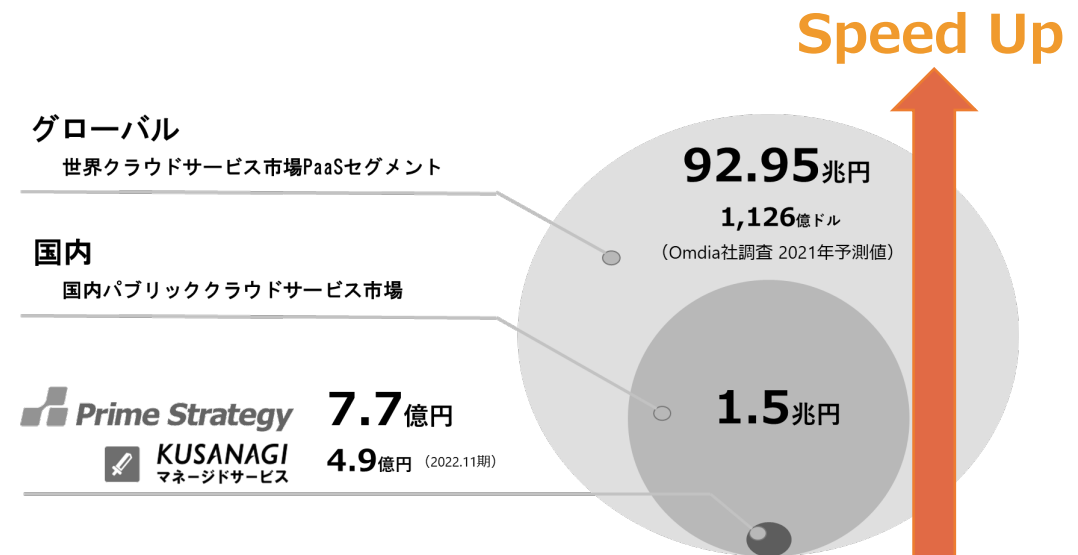
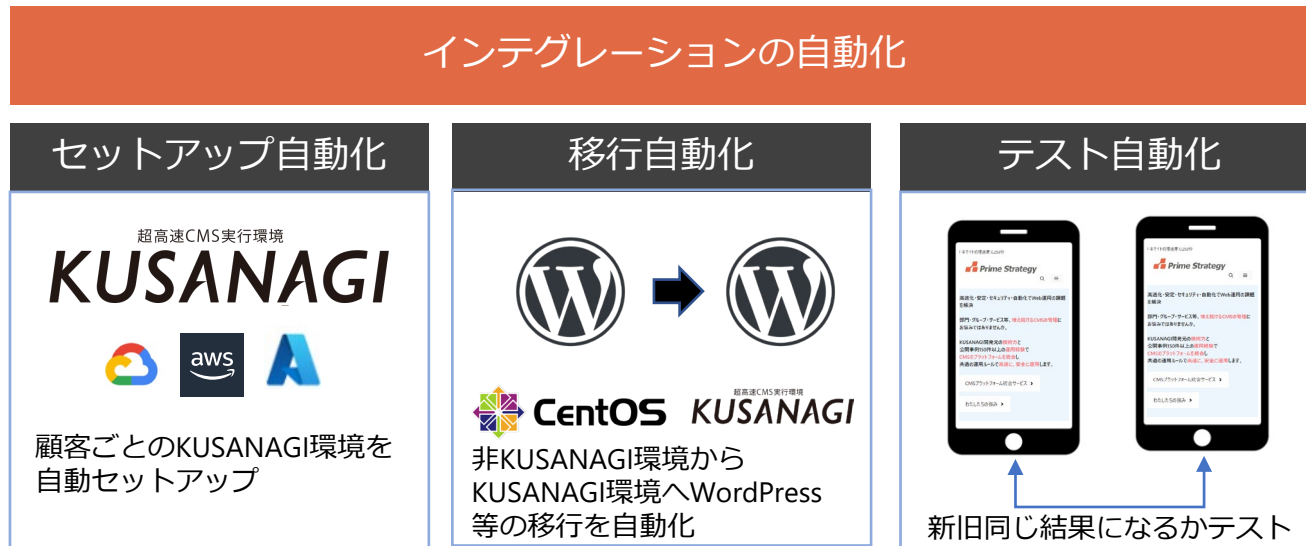


開発ベンダーの倒産等により古いWebサイトがメンテナンスされずに残っている状況で、統合管理に対するニーズは年々上昇している



# クラウドインテグレーション自動化（補足）

KUSANAGIマネージドサービスに移行する場合におけるセットアップ作業・移行作業・テストを自動化することにより、受注キャパシティが拡大し、小規模体制であっても複数の移行プロジェクトが実現できます。そのため、世界の市場に向けてCMSプラットフォーム統合サービス及びKUSANAGIマネージドサービスへの移行を迅速に実現させ、事業拡大をスピードアップできます。



リードタイム短縮による収益性の向上

# 本資料の取り扱いについて

- 本資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます。）が含まれる場合があります。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。本資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている 将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- 本資料は、本資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社又は当社の代表者のいずれも、本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社又は当社の代表者のいずれも、本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。
- また、当社以外の事項・組織に関する情報が含まれる場合があります。当該情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。



# ***KUSANAGI***